

番号	文化財の名称	類型 指定等・未指定	概要
4	竹田家住宅 (竹田嘉兵衛商店)	建造物 市指定 (有形文化財)	竹田家は絞開祖竹田庄九郎家の一族で、寛保年間(1741～1744)に絞業を営んでいた竹田嘉七郎に始まると伝えられる。明治から大正時代にかけて改造または新築、増築されてきたものであるが、江戸時代から近代初期にかけての絞問屋の形態及び景観をよく残す。主屋は江戸後期～明治初期建造。
5	竹田家茶室 栽松庵	建造物 市指定 (有形文化財)	栽松院と呼ばれる5代目の竹田嘉平氏が明治32年(1899)に亡くなるまで住んでいたとされる。明治中期の建造。
6	小塚家住宅	建造物 市指定 (有形文化財)	小塚家が有松に居を構えたのは、寛文年間(1661～1673)といわれている。卯建をあげる主屋が特徴的で、絞商の屋敷構えが一式で残っている。主屋は文久2年(1862)建造。
7	岡家住宅	建造物 市指定 (有形文化財)	主屋の間口は、有松の伝統的建造物の中では最大。江戸末期の絞商の特徴を今も残している。江戸末期ごろ建造と推定される。
8	都市景観保存樹 クロガネモチ	植物 未指定	服部家住宅(井桁屋)に立派なクロガネモチがそびえている。有松地区最古の樹木で名古屋市都市景観保存樹に指定されている。東海道開通のころから有松の歴史を見守ってきた大木。現在の建物が建てられる前からあり、この木を残すように家が建てられている。
9	中濱家住宅 (中濱商店)	建造物 国登録 (有形文化財)	当初は、絞商の山田与吉郎家の建物だったが、平成16年(2004)からは中濱家(中濱商店)の建物として使われている。主屋は明治中期ごろ建造。
10	棚橋家住宅	建造物 国登録 (有形文化財)	有松を代表する絞商(大井桁屋)の建物として建てられ、昭和8年(1933)からは棚橋医院として約50年間使われていた。主屋は明治8年(1875)建造。



図 122 服部家住宅(井桁屋)



図 123 岡家住宅

番号	文化財の名称		類 型 指定等・未指定	概 要
11	有松祭りの山車 行事 (有松天満社秋季大祭)	じんぐうこうごうしゃ 神功皇后車 (西町 山車庫)	無形の 民俗文化財 市指定(無形 民俗文化財)	絞産業の繁栄のなかで豪華になっていった有松の祭礼を象徴する山車。 山車行事である有松天満社秋季大祭は江戸時代から続くまつりで、かつては絞産業の閑散期である旧暦8月14、15日に行われていた。戦時中は山車の曳行が取りやめられ、その後も隔年で曳行されたりしていたが、平成になってからは、毎年10月の第1日曜日に曳行されている。まつりでは、西町の神功皇后車、中町の唐子車、東町の布袋車の3輦の山車からくりが披露される。文字書きのからくり人形が同一地区の二つの山車に乗せられているのは有松だけの特徴で、そのうちの一つは名古屋最古のものである。また、残る一つの山車の鮎釣り人形も舌を伸ばすなど個性的な動きをする。いずれのからくりも、古い歴史を持ち何度も修理されながら、保存されている。 このまつりには各町内の山車の囃子方が有松絞りの半纏、楯方が有松絞りのTシャツを着て参加する。趣向を凝らしたそれぞれの祭装束も楽しみの一つである。
12		唐子車 (中町 山車庫)		
13		布袋車 (東町 山車庫)		
14	有松天満社		建造物 未指定	有松天満社は有松の氏神さま。 有松祭りの山車行事が奉納されている神社でもある。 菅原道真公を主祭神として七神が祀られている。もともとは祇園寺境内にあり、寛政時代(1789~1800)の初めに現在の場所に移された。その後文政7年(1824)に改築されたが、これも有松の人々から莫大な資材・基金の寄付を受け、八棟造りの豪華な社である。
15	弘法堂		建造物 未指定	長坂道沿いにある弘法大師をまつるお堂。 有松の江戸情緒を現代に伝える貴重なお堂である。
16	中町地藏堂		建造物 未指定	天王坂といわれる道沿いにあったものを道路拡張の時に現在地に移転したもので、汗かき地藏さんと呼ばれている。 有松の江戸情緒を現代に伝える貴重なお堂である。
17	秋葉五社		建造物 未指定	天明4年(1784)の有松大火に見舞われた有松には、篤い火伏せの信仰が根づいており、現在でも町内に秋葉社が5社祀られている。

番号	文化財の名称	類 型 指定等・未指定	概 要
18	有松・鳴海絞の 製造技術及び製品	有形・無形の 民俗文化財 未指定	「縫う」、「くる」、「たたむ」ことにより形作られる布地の立体的な凹凸が有松・鳴海絞の神髄。絞りは皺の芸術であり、美学でもある。 有松・鳴海地域では今も各種絞り製品が作られ、至るところで小売りが行われている。 絞り工房においては、実際に絞りを体験できる。



図 124 有松祭りの山車行事 (1)



図 125 有松祭りの山車行事 (2)



図 126 有松・鳴海絞の製造技術



図 127 有松・鳴海絞の製品

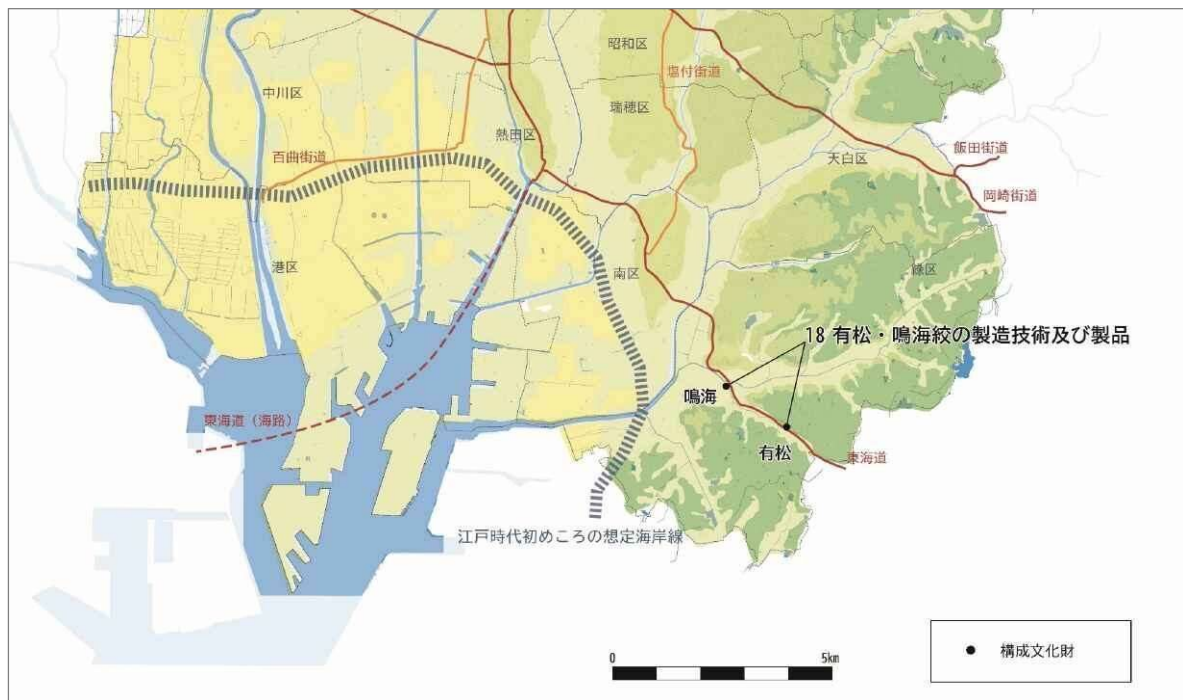


図 128 構成文化財の位置(1)



図 129 構成文化財の位置(2)

(2) 保存・活用に関する課題・方針

① 課 題

- ・昭和 59 年（1984）に市の町並み保存地区に指定された有松は、平成 28 年（2016）に東海道沿いが重要伝統的建造物群保存地区に選定され、町並みの保存が進められています。地区に所在する伝統的建造物の所有者の高齢化が進むとともに、建造物の老朽化による修繕費用が大きな負担となっており、伝統的建造物の維持管理・活用が課題となっています。
- ・伝統行事の山車行事について、経済事情、担い手の高齢化、地域コミュニティの希薄化などさまざまな要因によって、保存・継承が難しくなっています。
- ・有松・鳴海絞について、生活様式の変化や製造技術を受け継ぐ担い手の不足などにより、保存・継承が課題となっています。
- ・有松の町並み、有松祭りの山車行事、有松・鳴海絞を中心とするストーリーが令和元年（2019）に日本遺産に認定されていますが、有松は、市内のほかの主要観光資源に比べ、名古屋市を除く全国からの認知度（25 種類中第 22 位）、訪問意向（25 種類中第 19 位）が相対的に低く（「名古屋市観光客・宿泊客動向調査（2022 年）」による）、魅力向上が課題となっています。
- ・有松を訪れた方が、日本遺産のストーリーや有松の歴史、有松の見どころを知るとともに、実際に建物の内部を見ることができるガイダンス施設がありません。
- ・子どもたち次世代に対し、有松・鳴海絞などの価値や魅力をどのように伝えていくのが課題となっています。

② 方 針

- ・伝統的建造物群保存地区及び町並み保存地区における伝統的建造物の修理等に対し経済的、技術的支援を行うことで、有松の町並みの保存を図ります。
- ・市指定無形民俗文化財の有松祭りの山車行事、市指定有形文化財の建造物の保存修理等に対し、経済的、技術的支援を行います。
- ・伝統産業の有松・鳴海絞の継承を図るため、企業が行う若手技術者の育成に対し経済的支援を行います。
- ・地域団体及び民間事業者と連携した観光客の誘客事業などを実施し、有松の魅力発信を進めます。
- ・「有松地区における古民家を活用したまちづくりの考え方」に共感し、市と連携して主体的に活動する民間企業が伝統的建造物を含む古民家を面的、連鎖的に利活用する「古民家利活用事業」を進めることで、有松の更なる魅力向上を図ります。
- ・有松絞商家であった岡家住宅を、日本遺産のガイダンス施設として整備、活用するこ

とにより、有松の魅力向上を図ります。

- ・子どもたちが体験を通して有松・鳴海絞などの価値や魅力を知ることができる学習プログラムを実施します。

(3) 保存・活用に関する措置

【重点方針の凡例】

重点方針に対応する措置について、関係する方針の番号を記載（①観光資源となる文化財の活用推進、②祭礼行事・民俗芸能の保存・継承、③子どもたちへの文化財の普及啓発）

【名称の凡例】

措置名称の下に括弧内に、行政の担当部署を記載

総：総務局 ス：スポーツ市民局 経：経済局 観：観光文化交流局 住：住宅都市局

緑：緑政土木局 教：教育委員会事務局 消：消防局

【取組主体の凡例】

◎・・・主体的に取り組むもの ○・・・協力して取り組むもの

所有者・・・文化財の所有者

団 体・・・文化財保持・保存団体、企業、財団法人、協議会、市民活動団体など

行 政・・・名古屋市

番号	重点方針	名 称	取 組 主 体					財 源	実施期間（年度）					
			市 民	所 有 者	団 体	有 識 者	行 政		R5	R6	R7	R8	R9	R10
93		伝統的建造物群保存地区保存事業 （観・歴史まちづくり推進室）		◎	○	○	◎	市・国						
・有松の伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理や建造物の新築等に許可が必要であることを周知するとともに、一定の基準を満たす修理・修景行為について助成を行うことで、伝統的建造物群の保存を図る。														
11		（再掲）歴史的町並み保存事業 （観・歴史まちづくり推進室）		◎		○	◎	市						
・町並み保存地区における伝統的建造物の指定を行うとともに、一定の基準に沿った修理・修景に助成を行うことにより、有松の歴史的な町並みの保存を図る。														
37	③	（再掲）指定文化財の保存・活用の 支援 （教・文化財保護室）		○	○	○	◎	市						
・市指定文化財の保存管理、修理・修復、防犯・防災対策、後継者育成に対し、経済的、技術的支援を行う。														

番号	重点方針	名 称	取 組 主 体					財 源	実施期間（年度）					
			市 民	所 有 者	団 体	有 識 者	行 政		R5	R6	R7	R8	R9	R10
39		（再掲）伝統産業若手技術者育成事業助成 （経・労働企画室）			○		◎	市						
・有松・鳴海絞、名古屋仏壇などの市内の伝統産業に従事する人材の定着を促進するため、その若手技術者を育成する市内企業に対して補助金の交付を行う。														
94	①	有松の観光魅力向上 （観・観光推進課）			○		◎	市						
・地域団体及び民間事業者と連携した誘客事業など、有松の認知度向上及び観光誘客に資する魅力発信を実施する。														
95	①	有松の歴史的建造物利活用事業者支援 （観・歴史まちづくり推進室）			◎		◎	市						
・市と連携して主体的に活動する民間企業（連携事業者）が、有松町並み保存地区内にある伝統的建造物を含む古民家を面的、連鎖的に利活用する取り組みについて、事業の立ち上げを支援する。														
96	①	市指定有形文化財岡家住宅の保存活用 （観・歴史まちづくり推進室）					◎	市・国						
・江戸時代末期の有松絞商の町家建築である岡家住宅（市指定有形文化財）を日本遺産のガイダンス施設として整備、活用することにより、日本遺産のストーリーである有松・鳴海絞の歴史に対する市民意識の高揚を図るとともに、地域の魅力向上を図る。														
97	③	伝統産業体験学習 （教・生涯学習課）	○		○		◎	国・市						
・地域や大学、民間事業者等の協力を得て、体験を重視した学習を実施する。														

6 関連文化財群 4 尾張徳川家の信仰を伝える寺社

(1) 関連文化財群の概要

尾張徳川家は、先祖代々帰依してきた浄土宗の寺院を、城下町の北東部に菩提寺として建立しました。一つは、初代藩主義直が亡き母の相応院（お亀の方）のために建立した相応寺で、同寺では義直の葬儀が行われました。もう一つは、二代藩主光友が父義直の菩提を弔うために建てた建中寺で、同寺では歴代藩主の葬儀が行われるとともに、藩主などの霊廟が順次営まれました。尾張徳川家の菩提寺には、ほかに大森寺があり、松平・徳川家の菩提寺に性高院と高岳院、尾張徳川家の祈願寺に清浄寺があります。それら寺院には、仏像・仏具・絵画などの美術工芸品、古文書が多数所蔵されています。

家康が命じた名古屋城築城に際し、家臣の屋敷地となる三之丸が計画された場所には、天王社と若宮八幡社が以前より鎮座していました。2社を城外へ移すことが協議されましたが、天王社は家康の配慮によりその地に留まり、名古屋城の鎮護、城下町の氏神として敬われました。家康の没後、天王社の西半に、家康を祀る東照宮が義直により建てられました。さらに東照宮の西側には、徳川歴代将軍の御霊屋が順次造営され、天王社、東照宮、御霊屋が並ぶ一帯は、名古屋城内で最も神聖な場所となりました。

表 18 構成文化財一覧

番号	文化財の名称	類型 指定等・未指定	概要
1	相応寺	建造物 未指定	義直が母・相応院追悼のため寛永19年（1642）に創建した。義直は没後、瀬戸の定光寺に埋葬されるまで相応寺で供養された。
2	建中寺	建造物・遺跡 県指定・市指定 （有形文化財）	光友が義直の菩提寺として慶安4年（1651）に創建した。尾張藩領で最大の寺領を所有した。境内に歴代藩主の御霊屋（霊廟）が建立された。
3	尾張藩御廟所遺跡	遺跡 未指定	発掘調査により、藩主や親族の墓5基について、厳重な地下構造をもつことがわかっている。
4	大森寺	建造物 未指定	寛永14年（1637）、光友が母・歓喜院のために建立した寺院。本堂裏に歓喜院の墓塔がある。
5	性高院所蔵の 美術工芸品	美術工芸品 市指定 （有形文化財）	性高院は家康の四男・松平忠吉の菩提寺で、忠吉が母・宝台院のため武蔵国に建立し、清須を経て、慶長15年（1610）に名古屋に移った。市指定有形文化財の絹本着色松平忠吉像、梵鐘、黒漆葵紋瓜蒴絵懸盤・椀などを所蔵する。

番号	文化財の名称	類型 指定等・未指定	概要
6	高岳院	建造物 未指定	幼くして亡くなった家康の八男・仙千代の菩提寺。仙千代は義直の兄にあたる。慶長13年（1608）に甲斐国から清須に移り、清須越で名古屋に移った。
7	清浄寺	建造物 未指定	元禄年間に、光友の命により創建された。徳川家、尾張徳川家の仏事が執り行われた。
8	真宗大谷派名古屋別院（東本願寺掛所）	建造物 未指定	元禄3年（1690）、光友の許可を受けて、光友が寄進した古渡城（織田信秀の居城）の跡地に創建された。
9	興正寺	建造物 国指定 （重要文化財）	元禄年間（1688～1704）、光友により建立を許された。総本尊の大日如来坐像は、光友の造立である。光友や七代藩主宗春ゆかりの品々のほか、名古屋城二之丸御殿襖絵の唐人物図屏風・梨木禽鳥図屏風（市指定有形文化財）などを所蔵する。
10	貞祖院本堂	建造物 未指定	慶長13年（1608）に松平忠吉の養母が、忠吉の位牌を安置するために建立した。現在の本堂は、建中寺にあった御霊屋を明治5年（1872）に譲り受けたものである。
11	蒼竜寺本堂	建造物 未指定	明治5年（1872）に建中寺の御霊屋の一部を譲り受け、本堂としている。
12	那古野神社	建造物 未指定	社伝によれば、延喜11年（911）創建とされる。名古屋城築城前から三之丸の地にあった。城の鎮守、名古屋の氏神としてその地で祀られた。
13	東照宮	建造物 県指定 （有形文化財）	家康の死後、義直が三之丸に造営した。家康を御神体として祀り、武士階級から崇敬された。江戸時代、東照宮の祭礼は尾張藩が主導し、多くの町民が参加した。戦後、義直の正室、高原院の御霊屋が移築されている。
14	将軍家御霊屋跡出土の瓦	考古資料 未指定	御霊屋は明治期に取り壊されてしまったが、中国風の建物だったようである。霊獣である龍を作り出した瓦や、徳川家家紋のある瓦などが屋根を飾っていた。
15	若宮八幡社	建造物 未指定	名古屋城築城以前は天王社（現那古野神社）に隣接していたが、慶長15年（1610）に現在地に遷座した。名古屋城下の総鎮守として広く信仰を集めた。
16	富部神社	建造物 国指定（重要文化財）・市指定 （有形文化財）	慶長11年（1606）に松平忠吉が、病氣平癒のため、本殿・回廊などを造営したと伝えられる。

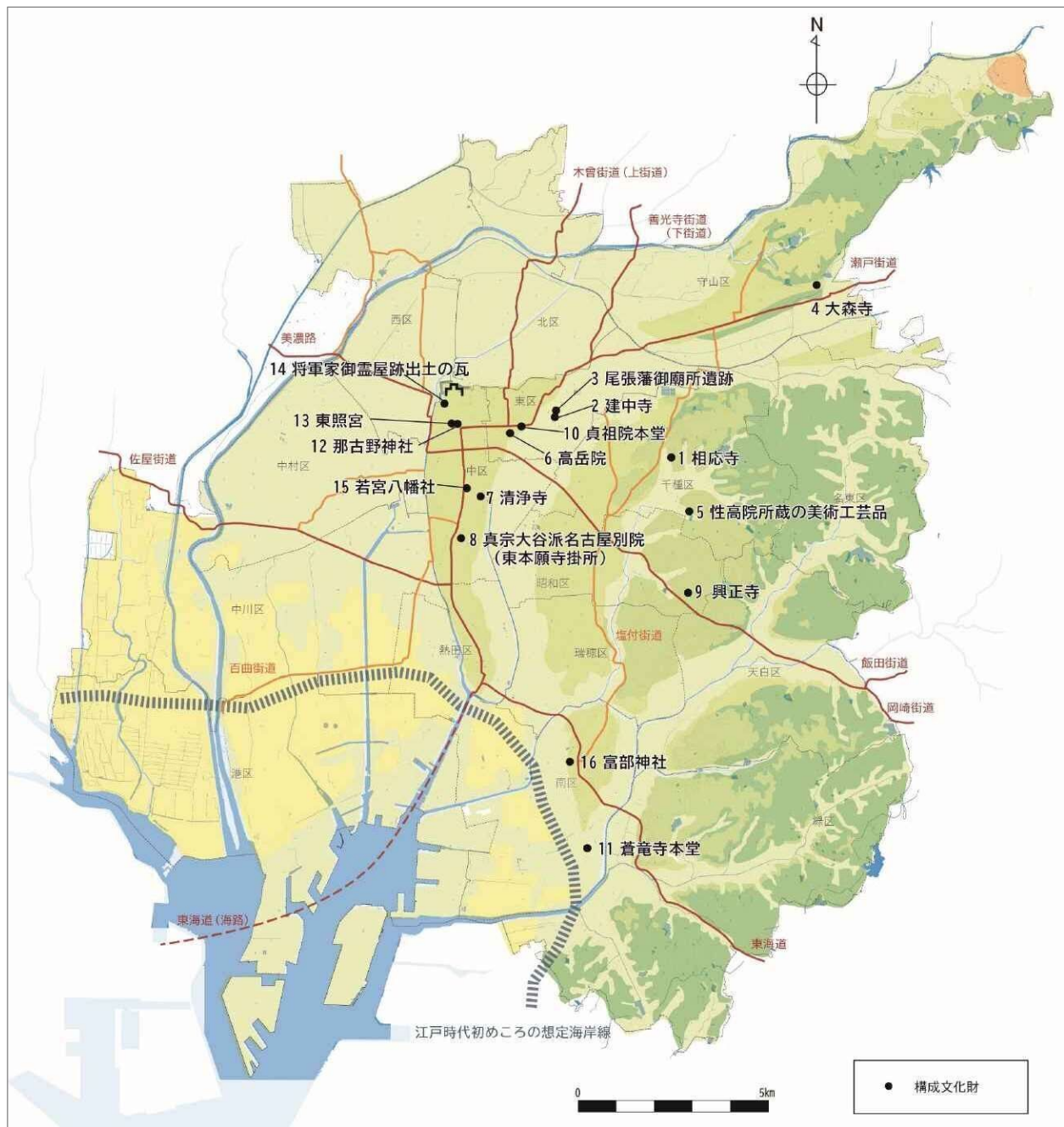


図 130 構成文化財の位置



図 131 相応寺



図 132 建中寺

(2) 保存・活用に関する課題・方針

① 課 題

- ・尾張徳川家ゆかりの寺社には、美術工芸品、古文書などの文化財が多数残されていますが、文化財の種類、内容、点数などが具体的に把握されておらず、それらの文化財的価値が十分に明らかになっていません。
- ・尾張徳川家ゆかりの寺社でありながらも、これまで広く市民の関心を引くような機会が少なく、その価値、重要性が市民に十分に認識されていません。

② 方 針

- ・尾張徳川家にゆかりが深い寺社の文化財を調査することで、尾張徳川家の歴史遺産を明らかにします。また、調査を通して文化財的、歴史的価値が明らかとなったものについて、文化財指定を検討します。
- ・調査によって明らかとなった、寺社及び寺社が所蔵する文化財の価値、重要性を広く市民に伝えます。また、新たな観光資源として活用していくことを検討します。

(3) 保存・活用に関する措置

【重点方針の凡例】

重点方針に対応する措置について、関係する方針の番号を記載（①観光資源となる文化財の活用推進、②祭礼行事・民俗芸能の保存・継承、③子どもたちへの文化財の普及啓発）

【名称の凡例】

措置名称の下に括弧内に、行政の担当部署を記載

総：総務局 ス：スポーツ市民局 経：経済局 観：観光文化交流局 住：住宅都市局

緑：緑政土木局 教：教育委員会事務局 消：消防局

【取組主体の凡例】

◎・・・主体的に取り組むもの ○・・・協力して取り組むもの

所有者・・・文化財の所有者

団 体・・・文化財保持・保存団体、企業、財団法人、協議会、市民活動団体など

行 政・・・名古屋市

番号	重点方針	名 称	取 組 主 体					財 源	実施期間（年度）					
			市 民	所 有 者	団 体	有 識 者	行 政		R5	R6	R7	R8	R9	R10
98		尾張徳川家ゆかりの寺社に残る文化財の調査 (教・文化財保護室)				○	◎	市						
・尾張徳川家ゆかりの寺社に残る文化財について、内容把握のための調査を実施する。 ・調査が終了したものについて、調査で明らかとなった文化財的、歴史的価値を踏まえ、文化財の指定を検討する。														
99		尾張徳川家ゆかりの寺社及び寺社が所蔵する文化財の活用の検討 (教・文化財保護室、観・歴史まちづくり推進室)					◎	市						
・尾張徳川家ゆかりの寺社、寺社が所蔵する美術工芸品等の文化財について、その価値、重要性を広く市民に伝えるとともに、観光資源としての活用を検討する。														

7 「名古屋市歴史的風致維持向上計画」の重点区域における事業

第7章で「文化財の保存・活用に関する措置」、本章の3～6で「関連文化財群の保存・活用に関する措置」を記載しました。ここでは、それらの措置のうち「名古屋市歴史的風致維持向上計画」の重点区域で行う事業（措置）を記載します。

(1) 名古屋城周辺地区

事業の名称	文化財保存活用地域計画の措置番号
名古屋城二之丸庭園の整備	31
名古屋城石垣の整備	30
名古屋城本丸御殿障壁画復元模写	81
名古屋城本丸御殿障壁画保存修理	32
名古屋城植栽管理計画の策定	28
金シャチ横丁構想の推進	85
文化のみちの推進	80
歴史的町並み保存事業（白壁・主税・榎木）	11
東区の山車囃子・からくり競演	61
県指定有形文化財伊藤家住宅の保存活用	73
歴史的町並み保存事業（四間道）	11
栄地区まちづくりプロジェクトの推進	—
名古屋まつりの開催	86

※歴史的風致維持向上計画の「文化のみちの推進」は、「重要文化財旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」の保存・公開と市政資料館としての活用（措置番号16）、「文化のみち二葉館の管理・運営」（措置番号17）、「文化のみち榎木館の管理・運営」（措置番号18）、「名古屋市役所本庁舎及び愛知県庁本庁舎の歴史的価値の維持向上」（措置番号55）、「蓬左文庫の運営」（措置番号22）、「郷土ゆかりの文学資料室」（措置番号25）を含む。

※「栄地区まちづくりプロジェクトの推進」は、文化財保存活用地域計画には登載していない事業で、リニア中央新幹線の開業を見据え、都心のシンボル空間である久屋大通の再生を進めるもの。

(2) 熱田地区

事業の名称	文化財保存活用地域計画の措置番号
熱田神宮周辺まちづくりの推進	75
熱田区役所における歴史資料展示	59

(3) 志段味地区

事業の名称	文化財保存活用地域計画の措置番号
志段味古墳群歴史の里の保存整備	20
志段味古墳群歴史の里の公開活用	56

(4) 有松地区

事業の名称	文化財保存活用地域計画の措置番号
市指定有形文化財岡家住宅の保存活用	96
伝統的建造物群保存地区保存事業	93
有松の歴史的建造物利活用事業者支援	95
歴史的町並み保存事業（有松）	11

第9章

文化財の保存・活用の推進体制

1 計画の推進体制

本市の文化財保護行政は教育委員会事務局文化財保護室が主管し、庁内関係部署が連携して文化財の保存・活用を進めています。教育委員会の附属機関として、名古屋市文化財調査委員会が設置され、文化財の指定等に関する調査審議、教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関する専門的事項の調査審議を行っています。文化財調査委員会には、文化財調査委員会の議決により付議された事項について調査審議する部会が置かれています。

本市では、市民、文化財所有者・管理者、各種団体（文化財保持・保存団体、企業、財団法人、協議会、市民活動団体など）、有識者、行政が連携して、文化財の保存・活用の取り組みを行っています。今後、本計画を力強く推進し、連携をさらに強化していくためには、文化財の保存・活用を担う行政の職員体制をより充実させることが求められます。特に学芸員の配置状況について、文化財保護主管課である文化財保護室には考古、民俗担当の学芸員は配置されていますが、美術工芸、文書典籍担当の学芸員は未配置です。また、本市では文化財保存活用支援団体の指定（文化財の保存・活用に取り組む民間団体を市が指定するもの）は現状行っていません。今後、関係団体の意見や意向などを踏まえ、指定を視野に検討を行います。

表 19 文化財の保存・活用の体制（令和5年12月現在）

(1) 文化財保護主管課	
部署名：	教育委員会事務局生涯学習部文化財保護室
職員：	24名（職制含む）（うち事務職4名、技師（建築）1名、学芸員9名、会計年度任用職員4名、再任用職員2名）
事務分掌：	(1) 文化財の保存及び継承並びに活用に関すること (2) 埋蔵文化財の保護に関すること (3) 文化財調査委員会に関すること (4) 文化財関係団体に関すること (5) 名古屋市美術品等取得基金の管理に関すること (6) 志段味古墳群歴史の里に関すること (7) 見晴台考古資料館、博物館、美術館及び科学館に関すること (8) ユネスコ活動に関すること (9) 芸術文化事業の奨励に関すること

(2) 庁内関係部署

総務局 総務課…重要文化財の市本庁舎の維持管理
 総務局 市政資料館…市政資料館の維持管理
 総務局 総合調整室…戦争に関する資料の収集、保存、展示
 経済局 労働企画室…伝統産業の振興、商品開発や技術者育成等への支援
 観光文化交流局 観光推進課…歴史観光等について
 観光文化交流局 文化芸術推進課…文化事業の実施や普及啓発
 観光文化交流局 歴史まちづくり推進室…歴史的建造物の保存・活用等
 観光文化交流局 名古屋城総合事務所…名古屋城に関する事業について
 住宅都市局 ウォーカブル・景観推進室…景観計画の策定及び都市景観形成地区の指定
 住宅都市局 まちづくり企画課…市街地の開発及び整備に関する検討及び推進
 住宅都市局 名港開発振興課…港及びその周辺地区における開発及び整備の推進
 住宅都市局 都心まちづくり課…都心部のまちづくりに係る総合的な施策の企画及び調整
 緑政土木局 河川計画課…堀川まちづくりに係る構想の推進
 緑政土木局 緑地維持課…鶴舞公園等の緑地の維持修繕
 緑政土木局 東山総合公園…重要文化財の植物園温室をはじめ公園及び公園施設の維持管理
 各区役所 地域力推進室…各区における生涯学習事業の推進
 教育委員会事務局 指導室…郷土歴史学習について
 教育委員会事務局 生涯学習課…生涯学習センターでの講座開設や体験を重視した学習の実施
 教育委員会事務局 見晴台考古資料館…資料館の運営及び考古資料の保管
 教育委員会事務局 博物館…博物館の運営及び資料の保管
 教育委員会事務局 蓬左文庫…尾張徳川家の旧蔵書等の保存及び展示
 教育委員会事務局 秀吉清正記念館…豊臣秀吉及び加藤清正に関する資料の保存及び展示
 教育委員会事務局 美術館…美術館の運営
 教育委員会事務局 科学館…科学館の運営
 教育委員会事務局 鶴舞中央図書館及び各区図書館…図書館の運営
 消防局 予防課…文化財防火デーなどの消防訓練や防災対策の啓発について

(3) 有識者

- ・名古屋市文化財調査委員会
 現在 16 名の委員で構成されており、専門分野の構成は以下のとおり（参考参照）。
 建造物町並み：4 名 美術工芸：3 名 文書典籍：3 名 無形民俗：3 名 考古埋蔵：3 名
 史跡名勝天然記念物：4 名 ※一部重複している委員あり
- ・特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議
- ・史跡大高城跡の調査・保存に関する懇談会
- ・史跡大曲輪貝塚の整備に関する懇談会
- ・名古屋市博物館資料委員
- ・秀吉文書集編集委員 など

(4) 団 体

文化財保持・保存団体

企 業

アクティオ株式会社（名古屋市旧川上貞奴邸指定管理者）
熱田神宮駅前地区まちづくり協議会
あつた堀川にぎわい委員会
熱田湊まちづくり協議会
あつた宮宿会
有松あないびとの会
株式会社 COSMO CONSULTANT（名古屋市文化のみち榑木館指定管理者）
しだみの里守グループ（名古屋市志段味古墳群歴史の里指定管理者）
城山・覚王山歴史文化の杜まちづくり共同体（名古屋市揚輝荘指定管理者）
天白区ガイドボランティア歴遊会
那古野一丁目地区景観まちづくり推進委員会
なごや学マイスターグループ
公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー
公益財団法人名古屋文化振興事業団
公益財団法人名古屋まちづくり公社
名古屋まつり協進会
はっけん・たんけん・中川区 まちの魅力発信隊
緑区観光推進協議会
緑区ルネッサンスフォーラム など

(5) ほかの自治体との連携

- ・全国史跡整備市町村協議会（加盟 625 市町村）、同東海地区協議会（山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県のうち加盟 52 市 7 町） ※令和 5 年 4 月 15 日現在
- ・指定都市文化財行政主管者協議会（札幌市、千葉市、川崎市、横浜市、相模原市、新潟市、浜松市、名古屋市、京都市、堺市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市）
- ・東海四県・政令指定都市文化財担当者会議（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、静岡市、浜松市、名古屋市）
- ・愛知県史跡整備市町村協議会（加盟 27 市 9 町 1 村） ※令和 5 年 12 月現在

2 計画の進捗管理と評価

本計画の推進にあたっては、第7章で挙げた「文化財の保存・活用に関する措置」、第8章で挙げた「関連文化財群の保存・活用に関する措置」の進捗状況を適宜確認し、名古屋市文化財調査委員会への報告及び同委員会からの意見聴取を行います。本計画の最終年度を目途に、同委員会の意見も踏まえて、各措置の取組状況、課題の改善状況について、自己評価を行います。自己評価の結果は次期計画の策定に活かします。

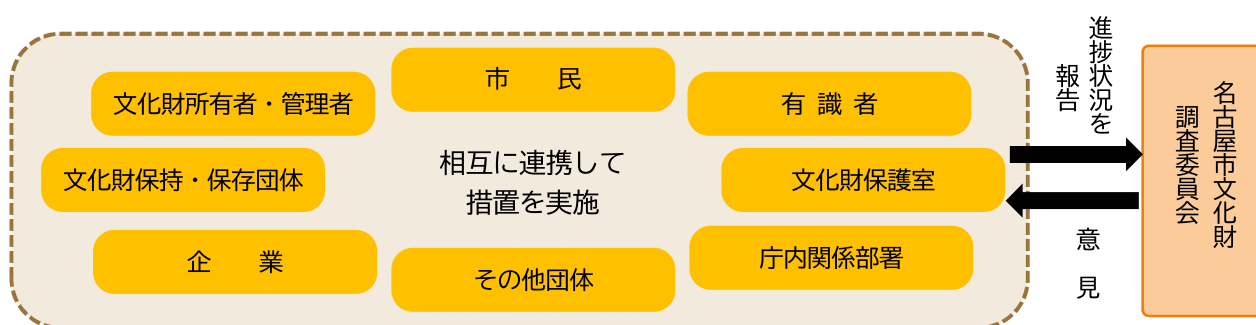


図 133 文化財の保存・活用の推進体制

参 考

1 計画作成に係る委員会委員・会議構成員名簿

(1) 名古屋市文化財調査委員会

※職名等は令和5年度現在。令和3年度の委員については、令和3年度時点。

氏 名	年 度	職 名 等
池田 洋子	令和3～5年度	名古屋造形大学名誉教授
石田 正治	令和4～5年度	愛知県立豊橋工科高等学校非常勤講師
井上 光夫	令和3～5年度	元名古屋市博物館副館長
上峯 篤史	令和4～5年度	南山大学准教授
大塚 英二	令和3～5年度	愛知県立大学非常勤講師
小野 佳代	令和4～5年度	東海学園大学教授
河田 克博	令和3～5年度	名古屋工業大学名誉教授
鬼頭 秀明	令和3～5年度	中京大学非常勤講師
久保 智康	令和4～5年度	京都国立博物館名誉館員
斎藤 夏来	令和4～5年度	名古屋大学大学院教授
清水 隆宏	令和4～5年度	愛知工業大学准教授
田中 青樹	令和4～5年度	愛知淑徳大学非常勤講師
中川 弥智子	令和4～5年度	名古屋大学大学院准教授
新美 倫子	令和4～5年度	名古屋大学博物館准教授
服部 直子	令和3～5年度	愛知県立大学非常勤講師
三浦 彩子	令和4～5年度	名城大学准教授
岡本 真理子	令和3年度	東海学院大学教授
角 哲	令和3年度	名古屋市立大学大学院准教授
熊田 由美子	令和3年度	愛知県立芸術大学名誉教授
黒沢 浩	令和3年度	南山大学教授
高部 淑子	令和3年度	日本福祉大学知多半島総合研究所教授
永田 典子	令和3年度	中部大学教授
西澤 泰彦	令和3年度	名古屋大学大学院教授
西田 佐知子	令和3年度	名古屋大学博物館准教授
服部 誠	令和3年度	県立旭丘高等学校教諭
山本 直人	令和3年度	名古屋大学大学院教授
吉田 俊英	令和3年度	四日市市立博物館館長（非常勤）

※令和4年度及び令和5年度 特別調査部会 ◎：部会長

◎石田正治、池田洋子、井上光夫、大塚英二、河田克博、鬼頭秀明

※令和3年度 小委員会：井上光夫、河田克博、鬼頭秀明、黒沢浩、高部淑子、吉田俊英

※令和3年度 文書典籍部会：大塚英二、高部淑子、服部直子

※令和3年度 美術工芸部会：池田洋子、熊田由美子、吉田俊英

(2) 名古屋市文化財保存活用地域計画策定に関する有識者等会議

構成員（◎：座長）

氏 名	年 度	職 名 等
池田 洋子	令和 3～5 年度	名古屋造形大学名誉教授
江口 忍	令和 3～5 年度	名古屋学院大学教授
◎河田 克博	令和 3～5 年度	名古屋工業大学名誉教授 名古屋市文化財調査委員会委員長
古池 嘉和	令和 3～5 年度	名古屋学院大学教授
永田 哲也	令和 3～5 年度	名古屋市指定文化財山車連絡協議会会長 下花車二福神車保存会会長
三浦 哲司	令和 3～5 年度	名古屋市立大学大学院准教授

オブザーバー

愛知県民文化局文化芸術課 文化財室長

(3) 名古屋市文化財保存活用地域計画策定に関する庁内連絡会議

観光文化交流局観光交流部 観光推進課長
観光文化交流局文化歴史まちづくり部 文化芸術推進課長
観光文化交流局文化歴史まちづくり部 歴史まちづくり推進室長
観光文化交流局名古屋城総合事務所 保存整備室
教育委員会事務局生涯学習部 文化財保護室長
教育委員会事務局博物館 学芸課長

2 計画作成に係る会議開催状況

(1) 名古屋市文化財調査委員会

開催日	内 容
令和3年6月18日 (文書典籍部会)	文献調査について 名古屋市文化財保存活用地域計画策定に向けた検討について 名古屋市歴史文化基本構想の内容確認について
令和3年6月21日 (美術工芸部会)	文献調査について 名古屋市文化財保存活用地域計画策定に向けた検討について 名古屋市歴史文化基本構想の内容確認について
令和3年7月6日 (第1回小委員会)	名古屋市文化財保存活用地域計画検討(案) 文化財調査について アンケートについて 名古屋市歴史文化基本構想の内容確認について
令和3年8月2日 (令和3年度第1回総会)	名古屋市文化財保存活用地域計画検討(案) 名古屋市歴史文化基本構想の内容確認について アンケートについて
令和4年3月24日 (令和3年度第2回総会)	名古屋市文化財保存活用地域計画について アンケート結果について 名古屋市文化財保存活用地域計画(案)について
令和4年9月20日 (第1回特別調査部会)	文化財保存活用地域計画の概要と策定スケジュール 名古屋市の歴史文化の特徴(案) 文化財の保存・活用に関する課題・方針(案) 関連文化財群の設定(案) 文化財の保存・活用に関する措置(案)
令和5年2月15日 (第2回特別調査部会)	名古屋市の歴史文化の特徴 文化財の保存・活用に関する方針 文化財の保存・活用に関する措置 文化財の保存・活用の推進体制
令和5年3月23日 (令和4年度第2回総会)	名古屋市文化財保存活用地域計画 目次(案) 名古屋市の歴史文化の特徴 文化財の保存・活用に関する方針 文化財の保存・活用に関する措置 文化財の保存・活用の推進体制
令和5年7月11日 (第3回特別調査部会)	文化財保存活用地域計画の策定について
令和5年8月8日 (令和5年度第1回総会)	文化財保存活用地域計画について
令和5年11月14日 (第4回特別調査部会)	文化財保存活用地域計画の策定について

(2) 名古屋市文化財保存活用地域計画策定に関する有識者等会議

開催日	内 容
令和 3 年 7 月 5 日	名古屋市文化財保存活用地域計画検討（案）について 文化財調査について アンケートについて
令和 4 年 10 月 20 日	文化財保存活用地域計画の概要とスケジュール 名古屋市の歴史文化の特徴（案） 文化財の保存・活用に関する課題・方針（案） 関連文化財群の設定（案） 文化財の保存・活用に関する措置（案） 市役所内への関連事業の照会について
令和 5 年 2 月 28 日	名古屋市の歴史文化の特徴 文化財の保存・活用に関する方針 文化財の保存・活用に関する措置 文化財の保存・活用の推進体制
令和 5 年 7 月 13 日	文化財保存活用地域計画の策定について
令和 5 年 11 月 9 日	文化財保存活用地域計画の策定について

(3) 名古屋市文化財保存活用地域計画策定に関する庁内連絡会議

開催日	内 容
令和 3 年 6 月 16 日	名古屋市文化財保存活用地域計画検討（案）について
令和 4 年 10 月 13 日	文化財保存活用地域計画の概要とスケジュール 名古屋市の歴史文化の特徴（案） 文化財の保存・活用に関する課題・方針（案） 関連文化財群の設定（案） 文化財の保存・活用に関する措置（案） 市役所内への関連事業の照会について
令和 5 年 2 月 16 日	名古屋市の歴史文化の特徴 文化財の保存・活用に関する方針 文化財の保存・活用に関する措置 文化財の保存・活用の推進体制
令和 5 年 7 月 7 日	文化財保存活用地域計画の策定について
令和 5 年 11 月 13 日	文化財保存活用地域計画の策定について

3 アンケート調査結果

(1) 市民アンケート

調査期間：令和3年10月5日～10月19日

調査方法 対象：市内に居住する満18歳以上の市民

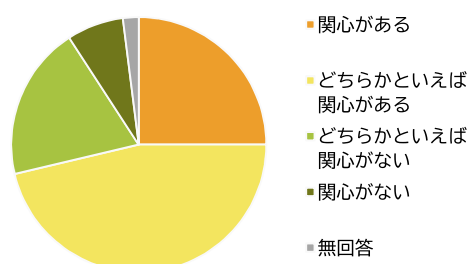
標本数：2,000人（外国人含む、住民基本台帳をフレームとする無作為抽出）

調査方法：郵送法

有効回収数：948人（有効回収率47.4%）

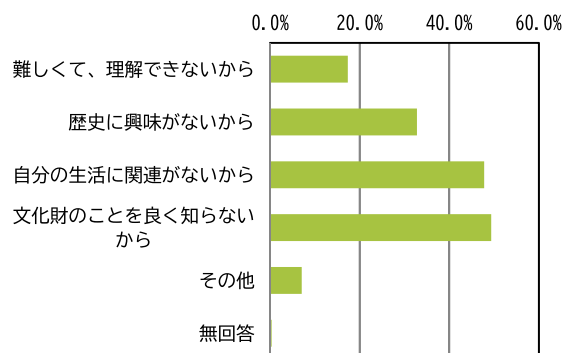
【問1】あなたは、文化財に関心がありますか。（回答は一つだけ）

	回答数	構成比
関心がある	237	25.0%
どちらかといえば関心がある	439	46.3%
どちらかといえば関心がない	185	19.5%
関心がない	68	7.2%
無回答	19	2.0%
計	948	100.0%



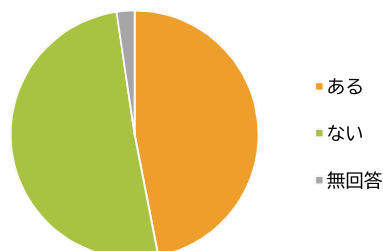
【問2】あなたが文化財に関心がないのは、どのような理由からですか。（問1で「どちらかといえば関心がない」、「関心がない」と回答した方、複数回答可）

	回答数	構成比
難しくて、理解できないから	44	17.4%
歴史に興味がないから	83	32.8%
自分の生活に関連がないから	121	47.8%
文化財のことを良く知らないから	125	49.4%
その他	18	7.1%
無回答	1	0.4%
計	392	



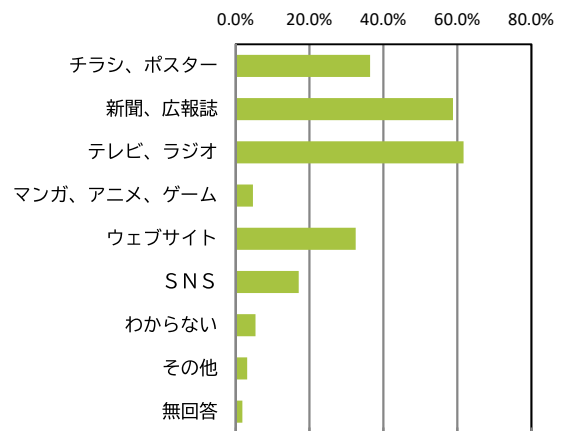
【問3】あなたは、文化財に関する情報を知る機会がありますか。（回答は一つだけ）

	回答数	構成比
ある	445	46.9%
ない	481	50.7%
無回答	22	2.3%
計	948	100.0%



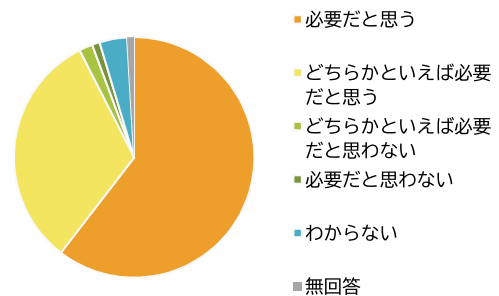
【問 4】あなたが文化財に関する情報を知るのはどのような媒体からですか（どのような媒体から知りたいですか）。（複数回答可）

	回答数	構成比
チラシ、ポスター	345	36.4%
新聞、広報誌	558	58.9%
テレビ、ラジオ	585	61.7%
マンガ、アニメ、ゲーム	45	4.7%
ウェブサイト	308	32.5%
SNS	162	17.1%
わからない	51	5.4%
その他	30	3.2%
無回答	18	1.9%
計	2,102	



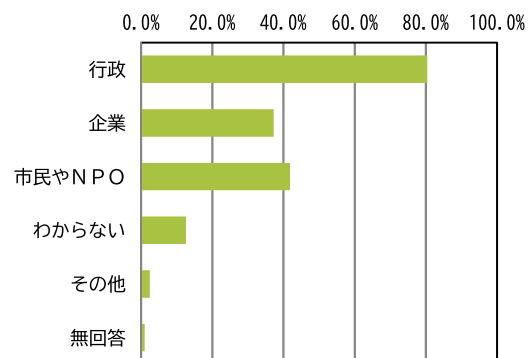
【問 5】あなたは、文化財を後世に引き継いでいくことは必要だと思いますか。（回答は一つだけ）

	回答数	構成比
必要だと思う	573	60.4%
どちらかといえば必要だと思う	304	32.1%
どちらかといえば必要だと思わない	17	1.8%
必要だと思わない	10	1.1%
わからない	35	3.7%
無回答	9	0.9%
計	948	100.0%



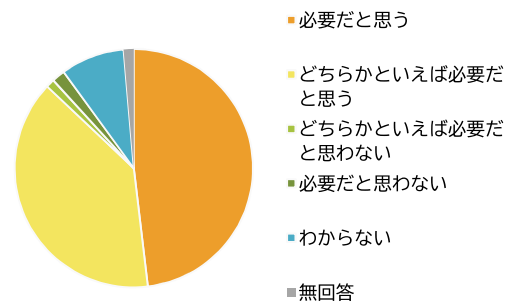
【問 6】あなたは、文化財を後世に引き継いでいくために、文化財の所有者や地域に対して、どこが支援すべきだと思いますか。（複数回答可）

	回答数	構成比
行政	762	80.4%
企業	353	37.2%
市民やNPO	397	41.9%
わからない	120	12.7%
その他	24	2.5%
無回答	10	1.1%
計	1,666	



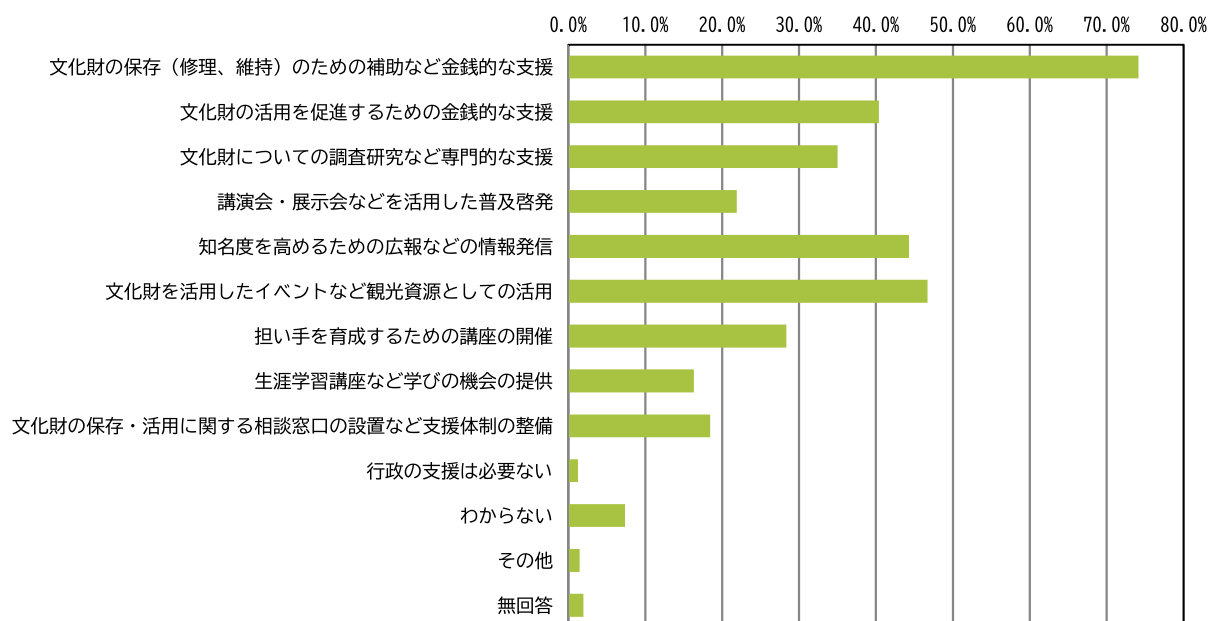
【問 7】あなたは、文化財を後世に引き継いでいくために、行政の文化財を修理するための補助や保存するための購入などの制度は必要だと思いますか。（回答は一つだけ）

	回答数	構成比
必要だと思う	456	48.1%
どちらかといえば必要だと思う	369	38.9%
どちらかといえば必要だと思わない	11	1.2%
必要だと思わない	17	1.8%
わからない	82	8.6%
無回答	13	1.4%
計	948	100.0%



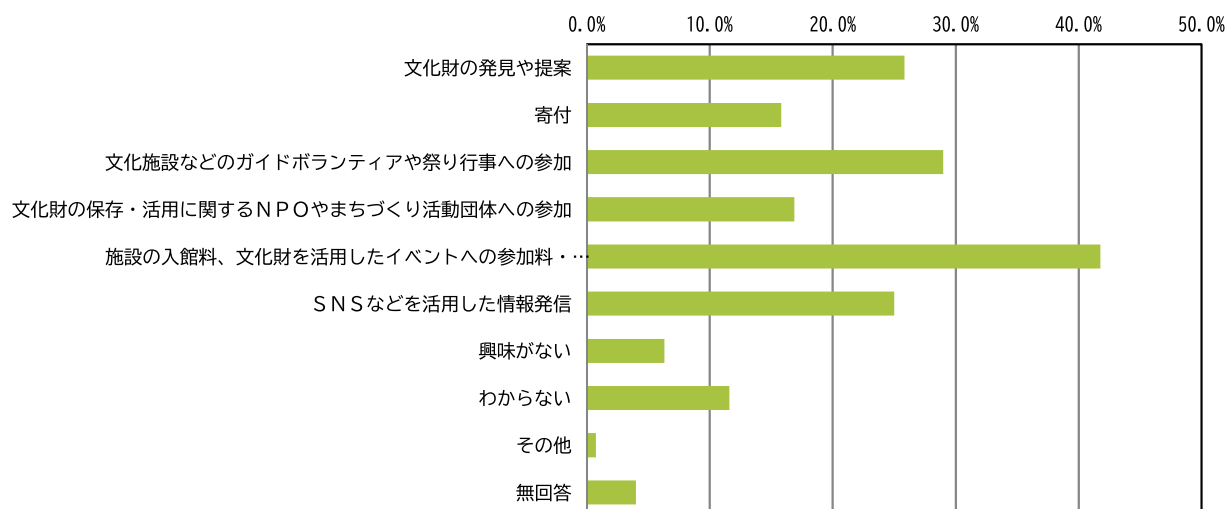
【問 8】あなたは、文化財を保存、活用していくために、今後、行政のどのような支援が必要だと思いますか。（複数回答可）

	回答数	構成比
文化財の保存（修理、維持）のための補助など金銭的な支援	703	74.2%
文化財の活用を促進するための金銭的な支援	383	40.4%
文化財についての調査研究など専門的な支援	332	35.0%
講演会・展示会などを活用した普及啓発	208	21.9%
知名度を高めるための広報などの情報発信	420	44.3%
文化財を活用したイベントなど観光資源としての活用	443	46.7%
担い手を育成するための講座の開催	269	28.4%
生涯学習講座など学びの機会の提供	155	16.4%
文化財の保存・活用に関する相談窓口の設置など支援体制の整備	175	18.5%
行政の支援は必要ない	12	1.3%
わからない	70	7.4%
その他	14	1.5%
無回答	19	2.0%
計	3,203	



【問 9】文化財を保存、活用していくための活動のうち、あなたが関心・興味のあるものはどれですか。（複数回答可）

	回答数	構成比
文化財の発見や提案	245	25.8%
寄付	150	15.8%
文化施設などのガイドボランティアや祭り行事への参加	275	29.0%
文化財の保存・活用に関する NPO やまちづくり活動団体への参加	160	16.9%
施設の入館料、文化財を活用したイベントへの参加料・お土産の購入など、サービスへの対価の支払い	396	41.8%
SNS などを活用した情報発信	237	25.0%
興味がない	60	6.3%
わからない	110	11.6%
その他	7	0.7%
無回答	38	4.0%
計	1,678	



【問 10】文化財の保存や活用に関して、ご意見やご要望などがありましたらご自由にお書きください。

◆主な回答

- ・文化財の現状（担い手や保存・継承者不足）などの情報発信が不足している。若い人に対しての発信不足による現状を知らない。さまざまな方法で情報発信するだけでなく文化財を守る方々を助ける方を政治の力で行うべきだと思います。
- ・税金を使い守ってほしい。
- ・名古屋へは他地方から移り住んでいる方も多いので、広報誌、新聞等で文化財について伝え続けて頂きたい。
- ・有形のものだけでなく伝統として伝わっている祭りなどの無形のものを大切にしてほしい。
- ・地元の強い保存活動、愛着、継承、アピールが必要と思う。

(2) 子どもアンケート

調査期間：令和3年10月1日～10月31日

調査方法 対 象：市内に居住する小学5年生～高校3年生（なごっちフレンズ）

標本数：567人

調査方法：郵送法

有効回収数：175人（有効回収率 30.9%）

Q1. あなたのお住まいは何区ですか。

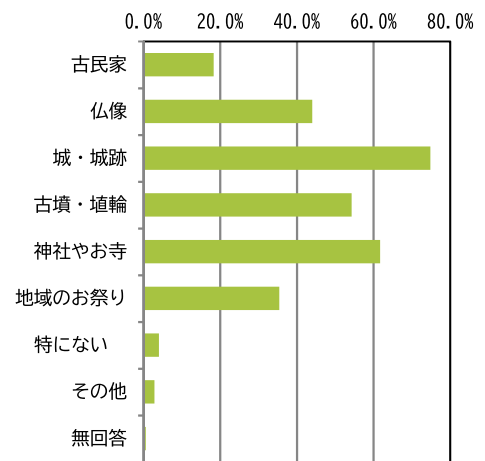
	回答数	構成比
千種区	14	8.0%
東区	7	4.0%
北区	13	7.4%
西区	11	6.3%
中村区	11	6.3%
中区	2	1.1%
昭和区	8	4.6%
瑞穂区	10	5.7%
熱田区	8	4.6%
中川区	8	4.6%
港区	4	2.3%
南区	9	5.1%
守山区	13	7.4%
緑区	19	10.9%
名東区	15	8.6%
天白区	23	13.1%
無回答	0	0.0%
計	175	100.0%

Q2. あなたは、何歳ですか。

	回答数	構成比
9歳	1	0.6%
10歳	21	12.0%
11歳	37	21.1%
12歳	34	19.4%
13歳	29	16.6%
14歳	17	9.7%
15歳	18	10.3%
16歳	5	2.9%
17歳	8	4.6%
18歳	4	2.3%
無回答	1	0.6%
計	175	100.0%

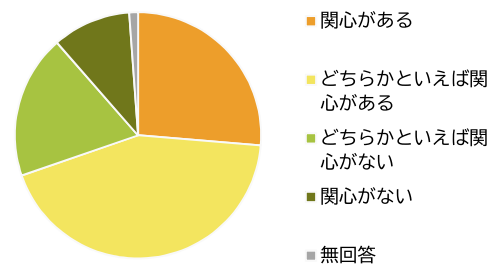
Q3. あなたが文化財と聞いて思い浮かべるものは何ですか。(複数回答可)

	回答数	構成比
古民家	32	18.3%
仏像	77	44.0%
城・城跡	131	74.9%
古墳・埴輪	95	54.3%
神社やお寺	108	61.7%
地域のお祭り	62	35.4%
特にない	7	4.0%
その他	5	2.9%
無回答	1	0.6%
計	518	



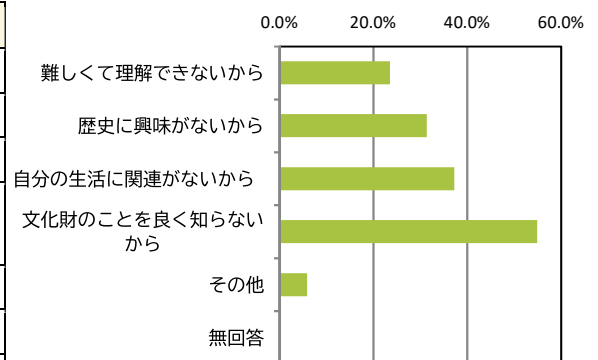
Q4. あなたは、文化財に関心がありますか。(回答は一つだけ)

	回答数	構成比
関心がある	46	26.3%
どちらかといえば関心がある	76	43.4%
どちらかといえば関心がない	33	18.9%
関心がない	18	10.3%
無回答	2	1.1%
計	175	100.0%



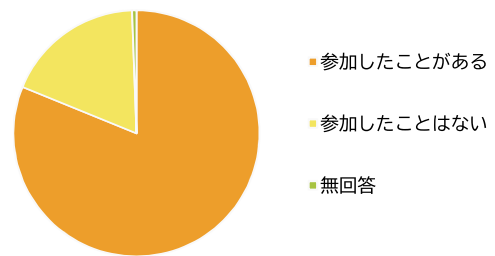
Q5. あなたが文化財に関心がない理由はどれですか。(複数回答可)

	回答数	構成比
難しく理解できないから	12	23.5%
歴史に興味がないから	16	31.4%
自分の生活に関連がないから	19	37.3%
文化財のことを良く知らないから	28	54.9%
その他	3	5.9%
無回答	0	0.0%
計	78	



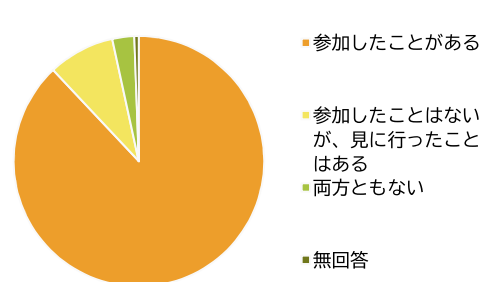
Q6. あなたは、町内会・自治会や子ども会の活動に参加したことがありますか。(回答は一つだけ)

	回答数	構成比
参加したことがある	142	81.1%
参加したことはない	32	18.3%
無回答	1	0.6%
計	175	100.0%



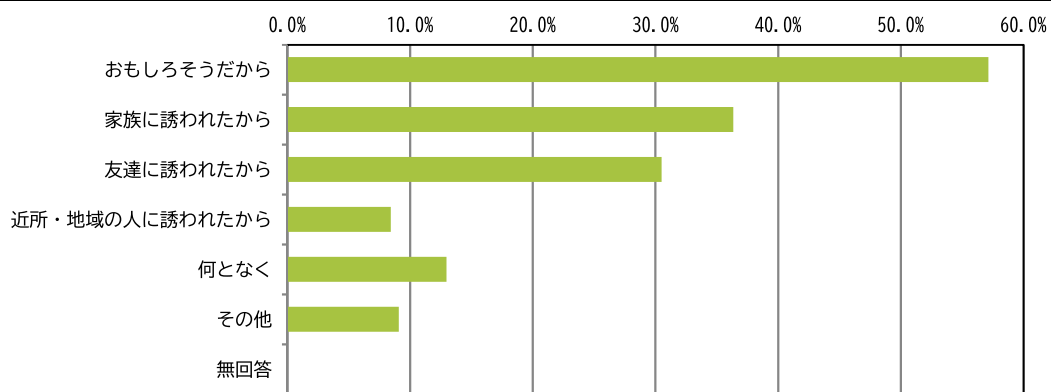
Q7. あなたは、あなたの地域(学区)で行っているお祭りに参加したことがありますか。(回答は一つだけ)

	回答数	構成比
参加したことがある	154	88.0%
参加したことはないが、見に行ったことはある	15	8.6%
両方ともない	5	2.9%
無回答	1	0.6%
計	175	100.0%



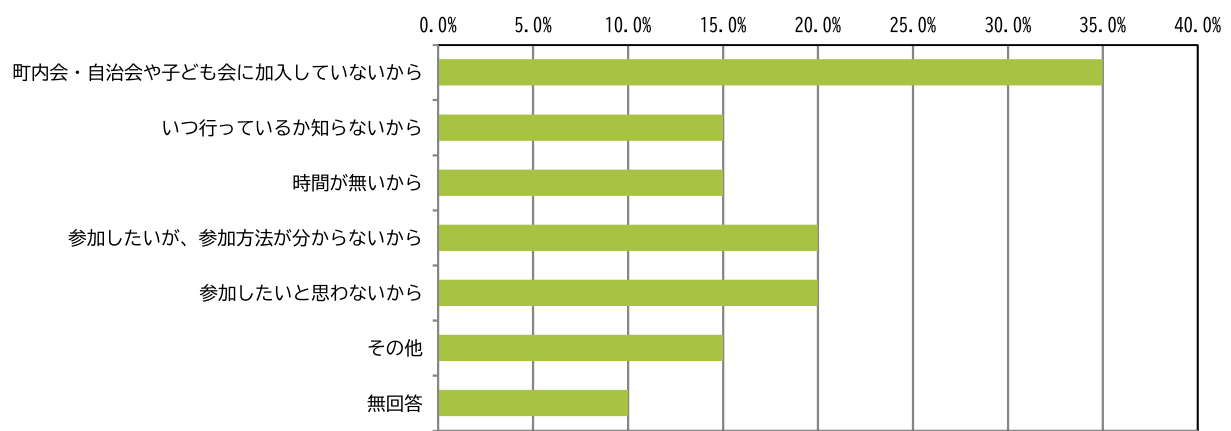
Q8. あなたが参加しようと思ったきっかけはどれですか。(Q7で「参加したことがある」と回答した方、複数回答可)

	回答数	構成比
おもしろそうだから	88	57.1%
家族に誘われたから	56	36.4%
友達に誘われたから	47	30.5%
近所・地域の人に誘われたから	13	8.4%
何となく	20	13.0%
その他	14	9.1%
無回答	0	0.0%
計	238	154.5%



Q9. なぜ参加したことがないのですか。(Q7 で「参加したことはないが、見に行ったことはある」、「両方ともない」と回答した方、複数回答可)

	回答数	構成比
町内会・自治会や子ども会に加入していないから	7	35.0%
いつ行っているか知らないから	3	15.0%
時間が無いから	3	15.0%
参加したいが、参加方法が分からないから	4	20.0%
参加したいと思わないから	4	20.0%
その他	3	15.0%
無回答	2	10.0%
計	26	



Q10. 最後に、名古屋市の文化財について、あなたの意見を自由にご書いてください。

◆主な回答

- ・ たくさんの方が知っているように SNS 等で情報発信をしてほしい。
- ・ 歴史のある都市なので文化財は多いと思うが、PR が足りなく、知らない。知る機会がない。
- ・ もっと文化財について知りたいので、文化財について教えてくれるイベントなどをやってほしいです。
- ・ 歴史ある文化財は見るだけでもとても勉強になるため、私のような子どもや若い人たちに見てもらうためにもずっと残していく価値があると思う。

(3) 指定（登録）文化財の所有者（管理者）アンケート

調査期間：令和3年11月1日～11月30日

調査方法 対象：指定（登録）文化財の所有者（管理者）

標本数：154件

調査方法：郵送法

有効回収数：126件（有効回収率81.8%）

Q1-1 所有している文化財の種別は。

	回答数	構成比
建造物	48	38.1%
絵画	12	9.5%
彫刻	11	8.7%
工芸	16	12.7%
書跡	5	4.0%
考古資料	3	2.4%
歴史資料	4	3.2%
無形文化財	4	3.2%
民俗文化財（有形）	10	7.9%
民俗文化財（無形）	25	19.8%
史跡	5	4.0%
名勝	1	0.8%
天然記念物	1	0.8%
無回答	6	4.8%
計	151	

Q1-3 文化財の所在地は。

	回答数	構成比
千種区	4	3.2%
東区	17	13.5%
北区	4	3.2%
西区	6	4.8%
中村区	7	5.6%
中区	15	11.9%
昭和区	10	7.9%
瑞穂区	7	5.6%
熱田区	8	6.3%
中川区	10	7.9%
港区	2	1.6%
南区	5	4.0%
守山区	6	4.8%
緑区	11	8.7%
名東区	11	8.7%
天白区	3	2.4%
市外	1	0.8%
無回答	0	0.0%
計	127	

Q1-2 所有者（管理者）は。

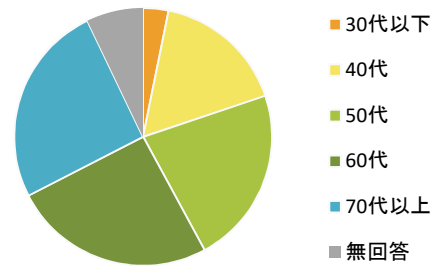
	回答数	構成比
法人 （宗教法人を含む）	63	50.0%
個人	19	15.1%
町内会	38	30.2%
その他	3	2.4%
無回答	3	2.4%
計	126	100.0%

Q2 文化財の日常の管理に携わっている方の人数は。（回答は一つだけ）

	回答数	構成比
なし	8	6.3%
1人	30	23.8%
2人	37	29.4%
5人以上	28	22.2%
10人以上	21	16.7%
無回答	2	1.6%
計	126	100.0%

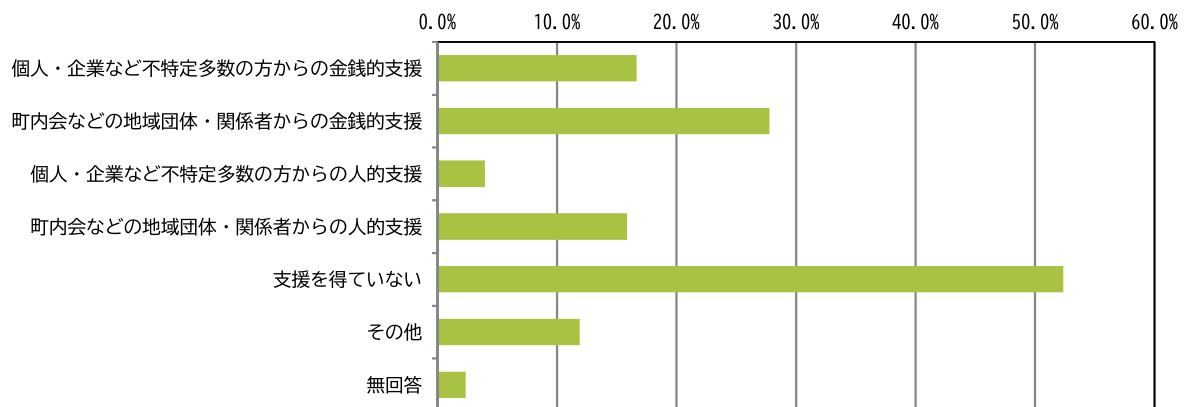
Q3 文化財の日常の管理に携わっている方の年齢（平均）は。（回答は一つだけ）

	回答数	構成比
30 代以下	4	3.2%
40 代	21	16.7%
50 代	28	22.2%
60 代	32	25.4%
70 代以上	32	25.4%
無回答	9	7.1%
計	126	100.0%



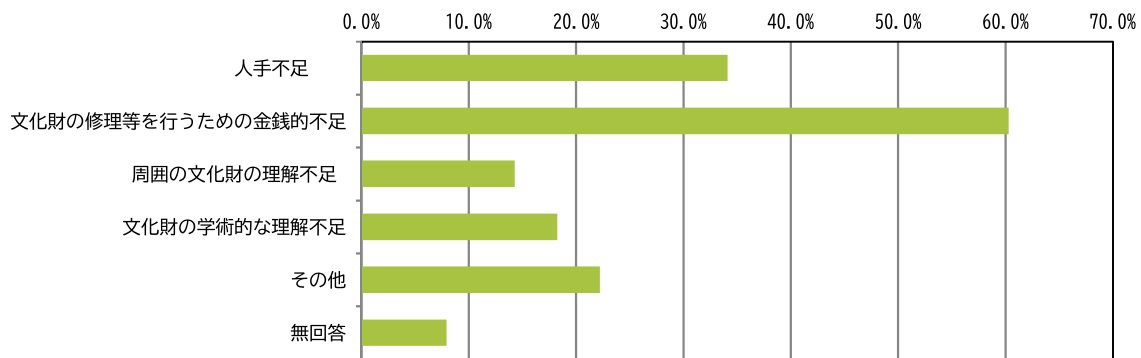
Q4 文化財の日常管理について、誰から、どのような支援を得ていますか。（複数回答可）

	回答数	構成比
個人・企業など不特定多数の方からの金銭的支援	21	16.7%
町内会などの地域団体・関係者からの金銭的支援	35	27.8%
個人・企業など不特定多数の方からの人的支援	5	4.0%
町内会などの地域団体・関係者からの人的支援	20	15.9%
支援を得ていない	66	52.4%
その他	15	11.9%
無回答	3	2.4%
計	165	



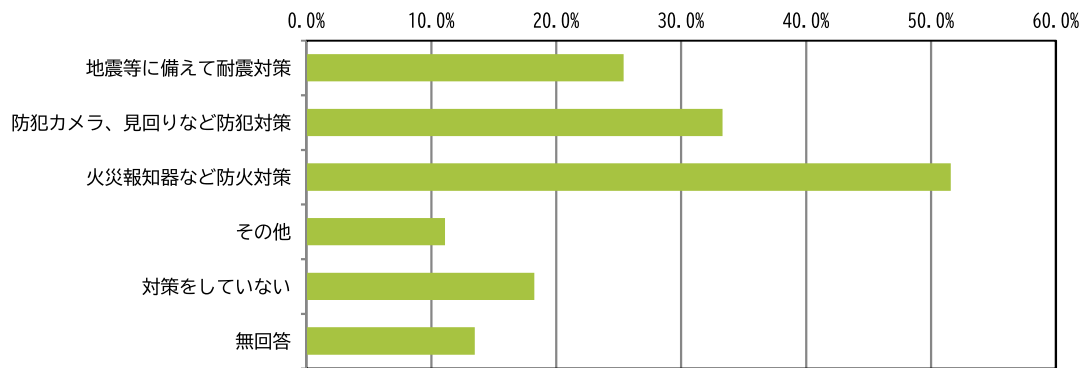
Q5 文化財を管理していく上で抱えている課題は。(複数回答可)

	回答数	構成比
人手不足	43	34.1%
文化財の修理等を行うための金銭的不足	76	60.3%
周囲の文化財の理解不足	18	14.3%
文化財の学術的な理解不足	23	18.3%
その他	28	22.2%
無回答	10	7.9%
計		



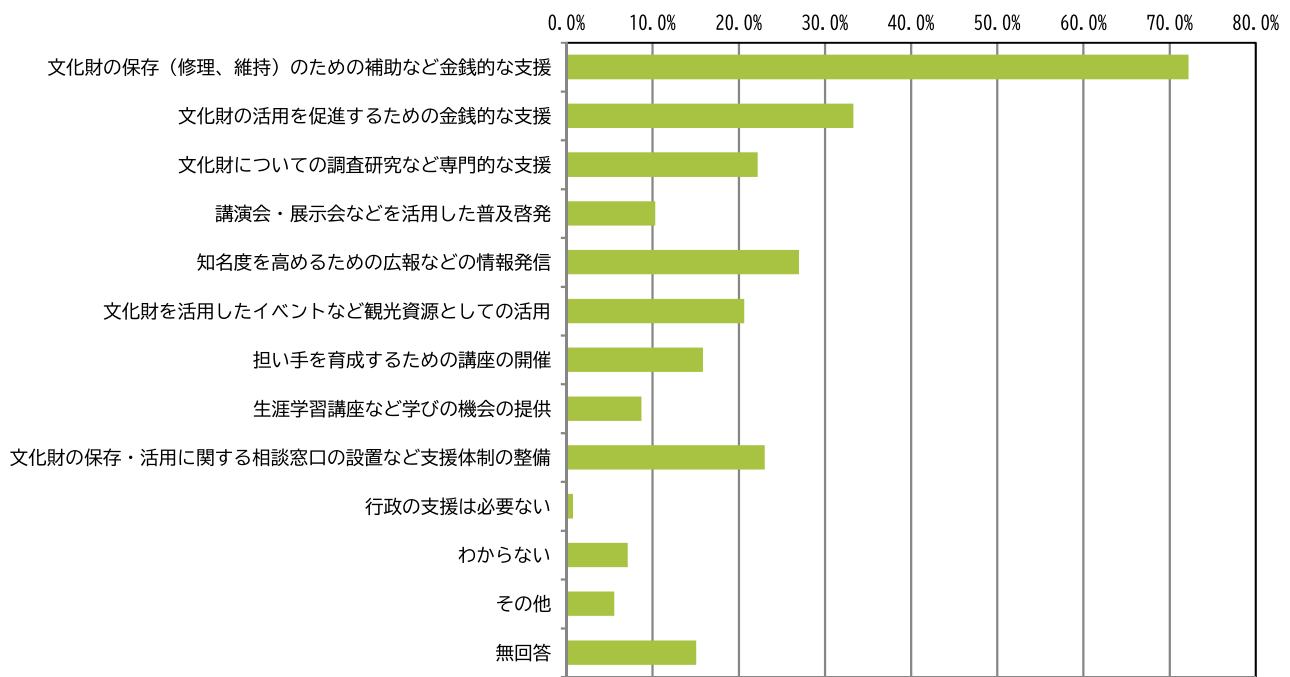
Q6 文化財を災害等から守るために実施している対策は。(複数回答可)

	回答数	構成比
地震等に備えて耐震対策	32	25.4%
防犯カメラ、見回りなど防犯対策	42	33.3%
火災報知器など防火対策	65	51.6%
その他	14	11.1%
対策をしていない	23	18.3%
無回答	17	13.5%
計	193	



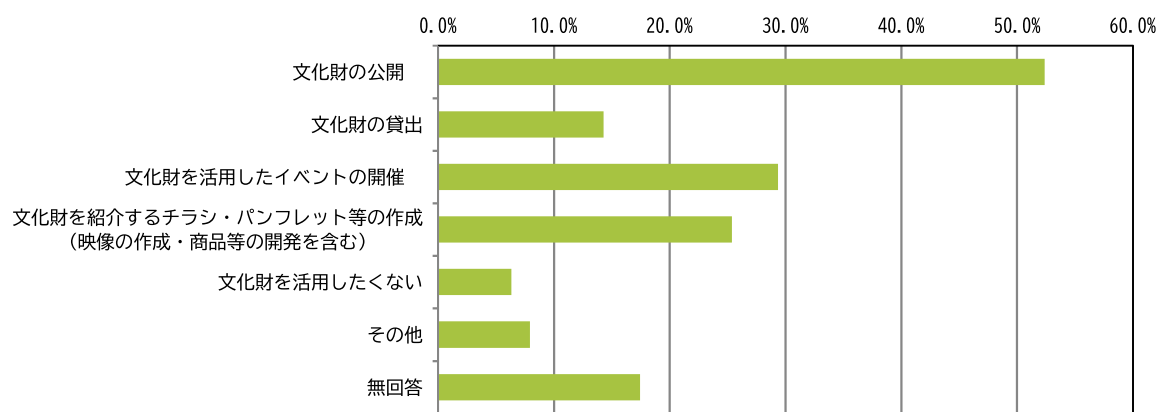
Q7 文化財の保護・活用のために、行政は主としてどのような支援をするべきだと思いますか（どういった支援が不足していると思いますか）。（複数回答可）

	回答数	構成比
文化財の保存（修理、維持）のための補助など金銭的な支援	91	72.2%
文化財の活用を促進するための金銭的な支援	42	33.3%
文化財についての調査研究など専門的な支援	28	22.2%
講演会・展示会などを活用した普及啓発	13	10.3%
知名度を高めるための広報などの情報発信	34	27.0%
文化財を活用したイベントなど観光資源としての活用	26	20.6%
担い手を育成するための講座の開催	20	15.9%
生涯学習講座など学びの機会の提供	11	8.7%
文化財の保存・活用に関する相談窓口の設置など支援体制の整備	29	23.0%
行政の支援は必要ない	1	0.8%
わからない	9	7.1%
その他	7	5.6%
無回答	19	15.1%
計	330	



Q8 今後、実施を予定している（既に実施している）、活用方法は。（複数回答可）

	回答数	構成比
文化財の公開	66	52.4%
文化財の貸出	18	14.3%
文化財を活用したイベントの開催	37	29.4%
文化財を紹介するチラシ・パンフレット等の作成（映像の作成・商品等の開発を含む）	32	25.4%
文化財を活用したくない	8	6.3%
その他	10	7.9%
無回答	22	17.5%
計	193	



Q9 文化財の保存・活用に関して、自由にご記入ください。

◆主な回答

- ・保存会の会員の高齢化が進んでおり、将来に向けた存続に不安を感じている。
- ・修理に伴う金銭的な部分も多々ありますが、山車や人形に関する修理、又、提灯、草鞋等どんどん業者がなくなっており、継続に支障が出るのではないかと心配しています。
- ・市内の文化財の所在と内容を周知させて頂き、市内に設けられている散策路コースパンフレットにも掲載して市民生活に活かしてくださるとよいと思います。
- ・保持維持の為の金銭的な援助が欲しい。

（4）旅行事業者及び交通事業者アンケート

調査期間：令和5年4月17日～5月19日

調査方法 対象：名古屋観光コンベンションビューローの賛助会員となっている業者より抽出

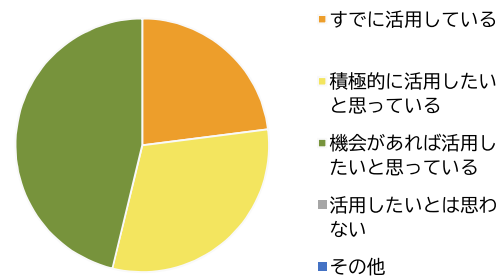
標本数：20件

調査方法：メール及びFAX

有効回収数：13件（有効回収率65%）

問1 貴社が行っている観光・旅行事業において、名古屋市内の文化財を活用したいと思いますか。

	回答数	構成比
すでに活用している	3	23.0%
積極的に活用したいと思っている	4	30.8%
機会があれば活用したいと思っている	6	46.2%
活用したいとは思わない	0	0.0%
その他	0	0.0%
計	13	



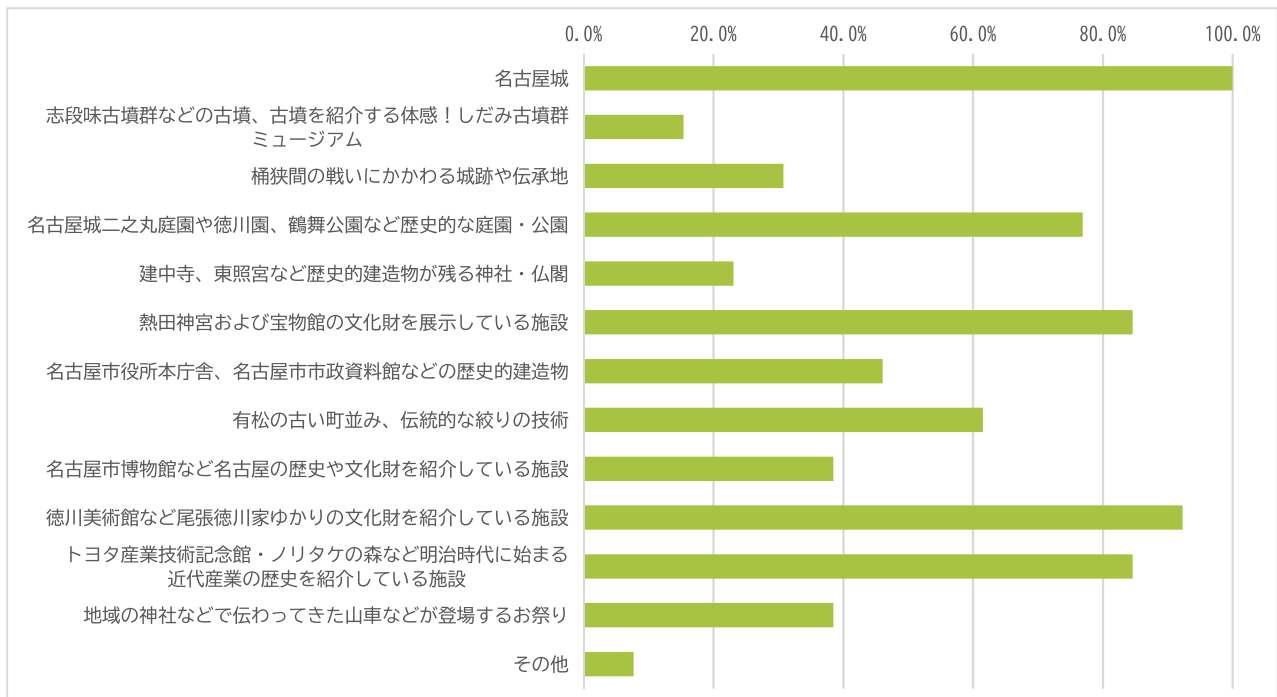
問2 問1の回答理由についてご記入ください。(自由記述・任意)

◆主な回答

- ・旅行商品などで、旅先での過ごし方を提案している。
- ・市内にも魅力的な文化財は多くインバウンド目線でも広く周知できれば誘客は可能

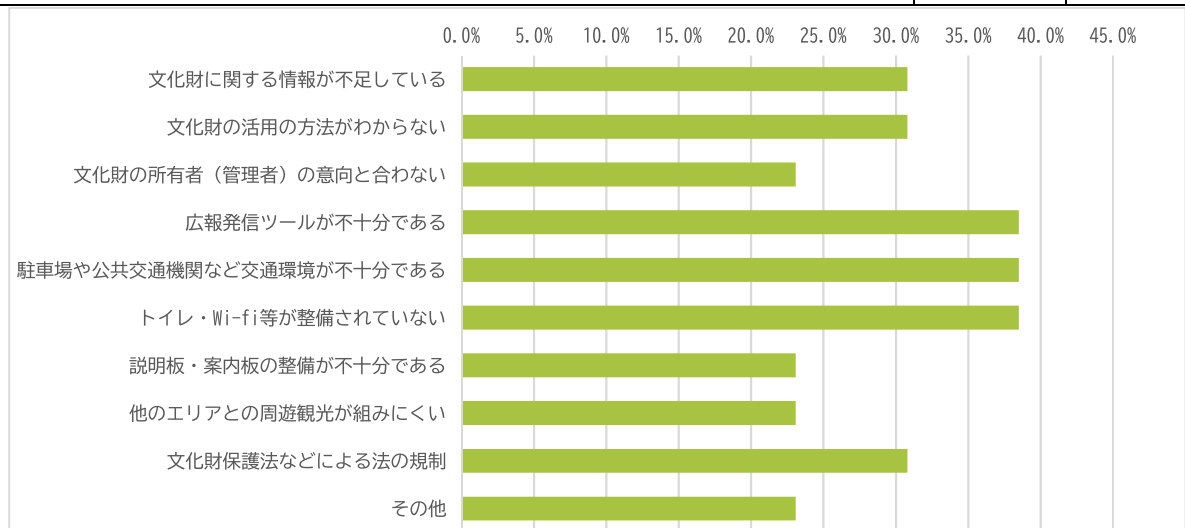
問3 以下の名古屋市に所在する文化財、文化財等を展示する施設を、観光・旅行事業で活用したいと思われませんか。(複数回答可)

	回答数	構成比
名古屋城	13	100.0%
志段味古墳群などの古墳、古墳を紹介する体感！しだみ古墳群ミュージアム	2	15.4%
桶狭間の戦いにかかわる城跡や伝承地	4	30.8%
名古屋城二之丸庭園や徳川園、鶴舞公園など歴史的な庭園・公園	10	76.9%
建中寺、東照宮など歴史的建造物が残る神社・仏閣	3	23.1%
熱田神宮及び宝物館の文化財を展示している施設	11	84.6%
名古屋市役所本庁舎、名古屋市市政資料館などの歴史的建造物	6	46.1%
有松の古い町並み、伝統的な絞りの技術	8	61.5%
名古屋市博物館など名古屋の歴史や文化財を紹介している施設	5	38.5%
徳川美術館など尾張徳川家ゆかりの文化財を紹介している施設	12	92.3%
トヨタ産業技術記念館・ノリタケの森など明治時代に始まる近代産業の歴史を紹介している施設	11	84.6%
地域の神社などで伝わってきた山車などが登場するお祭り	5	38.5%
その他	1	7.7%
計	91	



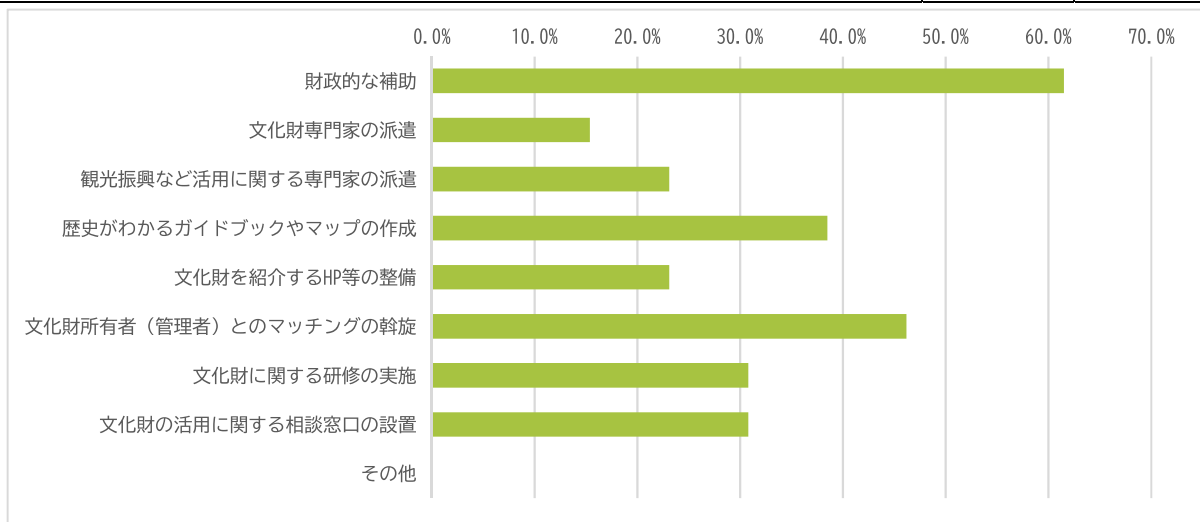
問4 貴社が文化財を活用した事業を行ううえで支障になっていることはありますか。（複数回答可）

	回答数	構成比
文化財に関する情報が不足している	4	30.8%
文化財の活用の方法がわからない	4	30.8%
文化財の所有者（管理者）の意向と合わない	3	23.1%
広報発信ツールが不十分である	5	38.5%
駐車場や公共交通機関など交通環境が不十分である	5	38.5%
トイレ・Wi-fi 等が整備されていない	5	38.5%
説明板・案内板の整備が不十分である	3	23.1%
ほかのエリアとの周遊観光が組みにくい	3	23.1%
文化財保護法などによる法の規制	4	30.8%
その他	3	23.1%
計	39	



問5 貴社が文化財を活用した事業を行ううえで、国や名古屋市から、どのような支援等が必要だと思いますか。（複数回答可）

	回答数	構成比
財政的な補助	8	61.5%
文化財専門家の派遣	2	15.4%
観光振興など活用に関する専門家の派遣	3	23.1%
歴史がわかるガイドブックやマップの作成	5	38.5%
文化財を紹介するHP等の整備	3	23.1%
文化財所有者（管理者）とのマッチングの斡旋	6	46.2%
文化財に関する研修の実施	4	30.8%
文化財の活用に関する相談窓口の設置	4	30.8%
その他	3	
計	38	



問6 現在、実施している文化財を活用した取り組みについてご記入ください。（自由記述）

◆主な回答

- ・観光タクシー事業
- ・染め物の町 名古屋・有松への旅

問7 文化財を活用していくにあたって、名古屋市への要望や名古屋市に期待することがありましたら、自由にご記入ください。

◆主な回答

- ・子供のときから教育していくことが重要。成人した市民にも、知ってもらう教育・機会を広げてほしい。
- ・社員の研修機会をもっと設けたい。

4 指定等文化財リスト

(1) 国指定等文化財

有形文化財（建造物）

No.	名 称
1	観音寺多宝塔
2	竜泉寺仁王門
3	名古屋城
4	富部神社本殿
5	名古屋城二之丸大手二之門
6	名古屋城旧二之丸東二之門
7	興正寺五重塔
8	旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎
9	名古屋市東山植物園温室前館
10	名古屋市庁舎
11	愛知県庁舎
12	八勝館
13	名古屋テレビ塔

有形文化財（美術工芸品） 絵画

No.	名 称
1	絹本著色仏涅槃図
2	紙本著色法華経涌出品
3	絹本著色騎馬武者像（伝足利尊氏像）
4	紙本著色三十六歌仙切（興風）佐竹家伝来
5	金地著色秋草鶉図六曲屏風
6	名古屋城旧本丸御殿障壁画
7	紙本著色藤原敏行像（佐竹本三十六歌仙人切）
8	紙本著色源宗于像（佐竹本三十六歌仙切）
9	紙本著色山紅於染図 浦上玉堂筆
10	名古屋城旧本丸御殿天井板絵
11	紙本白描絵因果経（巻第二上断簡）
12	紙本墨画淡彩富嶽列松図 与謝蕪村筆
13	紙本墨画淡彩秋色半分図 浦上玉堂筆 紙本墨画淡彩酔雲醒月図 浦上玉堂筆 紙本墨画山水図 浦上玉堂筆 五言絶句 浦上玉堂筆 七十四歳の款記がある
14	紙本墨画四季山水図六曲屏風
15	絹本著色千手観音二十八部衆像

有形文化財（美術工芸品） 彫刻

No.	名 称
1	木造観音菩薩坐像及勢至菩薩坐像
2	木造舞楽面
3	木造無住和尚坐像（開山堂安置）
4	木造地藏菩薩立像
5	木造阿弥陀如来立像 像内納入品

有形文化財（美術工芸品） 工芸品

No.	名 称
1	金銅兵庫鎖太刀
2	菊蒔絵手篋
3	国宝 短刀 銘来国俊 正和五年十一月日
4	太刀 銘則国
5	太刀 銘宗吉作
6	太刀 銘備州長船兼光
7	脇指 銘長谷部国信
8	太刀 銘宗吉作
9	太刀 銘国友
10	太刀 銘長光
11	太刀 銘備州長船重光
12	剣 銘吉光
13	短刀 銘長谷部国信、藤原友吉
14	短刀 銘国光 元徳三年（以下切）
15	太刀 銘了戒嘉元三年三月日 山城国住人九郎左
16	太刀 無銘
17	太刀 銘真行身ノ表二元亀二年辛未八月八日大久保与九郎、裏二熱田大名神奉進在銘
18	脇差 銘指表二奉納尾州熱田大明神、指裏二両御所様被召出於武州江戸御劔作御紋康之字被下罷上刻籠越前康継
19	劔 銘包利
20	劔 銘為清 身二熱田大明神宮宗久ト切付アリ
21	短刀 銘了戒
22	太刀 銘元弘三年六月一日実阿作 鎬地二文祿四年守勝ノ寄進銘アリ
23	太刀 銘順慶

24	太刀 銘近房
25	太刀 銘行平作
26	刀 無銘伝国俊
27	短刀 銘備州長船住長義 正平十五年五月日
28	太刀 銘来国光
29	太刀 銘備州長船住景光 正和五年十月日
30	短刀 銘光包 延慶二年二月日
31	太刀 銘国行
32	短刀 銘来国光（名物塩川来国光）
33	太刀 銘備州長船景光 金象嵌銘本多平八郎忠為所持
34	薙刀 銘是介
35	刀 無銘貞宗
36	太刀 銘国泰
37	太刀 銘備州長船住成家 貞治二二年十二月日
38	国宝 短刀 銘来国光（名物有樂来国光）
39	古神宝類
40	鏡及鏡箱
41	刀 無銘（吉岡一文字）
42	刀 銘備前国長船与三左衛門尉祐定 為栗山与九郎作之 永正十八年二月吉日
43	太刀 銘雲生
44	刀 銘長曾禰興里入道帟徹
45	古瀬戸黄釉魚波文瓶
46	太刀 銘備前国友成
47	金銅装唐鞍
48	黒楽茶碗（時雨） 光悦作
49	染分縷子地御所車花鳥文様繡箔小袖
50	能装束

有形文化財（美術工芸品） 書跡・典籍

No.	名 称
1	七寺一切經 黒漆一切經唐櫃（中蓋・内箱共）
2	日本靈異記 卷中下
3	倭名類聚抄（抄本）
4	色紙墨書妙法蓮華經 卷第五
5	源家長筆熊野懷紙 山河水鳥 旅宿埋火
6	宋刊本玉編
7	宋刊本新雕雙金
8	宋刊本僧史略

9	宋刊本広韻 上声
10	宋刊本礼部韻略（去声闕）
11	宋刊本紹聖新添周易神殺曆等残卷
12	扶桑略記 卷第一残卷、第三
13	古事記上卷抄
14	彩牋三宝絵残卷（八十六枚）
15	宇多院歌合
16	永久四年四月四日院北面和歌合
17	日本書紀（紙背和歌懷紙）
18	將門記残卷
19	七大寺年表
20	国宝 漢書食貨志第四
21	国宝 瑠玉集卷第十二、第十四
22	国宝 古事記 賢瑜筆
23	国宝 翰林学士詩集
24	古今和歌集残卷（筋切本）
25	古今和歌集残卷（関戸本）
26	明極楚俊墨蹟 与放牛光林法語 嘉暦己巳孟秋上澣三日
27	大鏡
28	樵隱悟逸墨蹟 与友山士思語 元統三年十一月旦
29	続日本紀（金沢文庫本）
30	侍中群要（金沢文庫本）
31	齊民要術（金沢文庫本）
32	源氏物語（河内本）
33	論語集解
34	宋版太平聖恵方（金沢文庫本）
35	寸松庵色紙（しらゆきの）
36	藤原信綱筆懷紙（くれなゐの）
37	口遊
38	本朝文粹 卷第十二、十四 本朝文粹 卷第十四
39	空也誄
40	熊野三所権現御記文 熊野権現蔵王殿造功日記 熊野三所権現金峯金剛蔵王降下御事 熊野王子眷属

41	続本朝往生伝 拾遺往生伝 後拾遺往生伝 三外往生記 本朝新修往生伝 往生浄土伝 法花経伝 卷第三・四、五・六、七・八
42	弘法大師伝記 弘法大師伝 弘法大師行化記 高野大師伝 弘法大師御入定勘決記 弘法大師御入定勘決抄 高野口決
43	朝鮮版高麗史節要（銅活字本）
44	万葉集（紀州本）

有形文化財（美術工芸品） 古文書

No.	名 称
1	後花園天皇宸翰御消息 永享五年十二月十二日
2	尾張国解文残卷
3	無住道暁筆文書
4	豊臣家文書（六十七通）

有形文化財（美術工芸品） 考古資料

No.	名 称
1	袈裟襴文銅鐸

有形文化財（美術工芸品） 歴史資料

No.	名 称
1	交代寄合西高木家関係資料
2	ホジ六〇一四号蒸気動車
3	鉄道省営乗合自動車

(2) 県指定文化財

有形文化財（建造物）

No.	名 称
1	瑞泉寺総門
2	建中寺徳川家霊廟
3	東照宮社殿
4	草結庵
5	暮雨巷
6	無縫塔
7	井桁屋（服部家住宅）

無形文化財

No.	名 称
1	尺八 保持者：野村正也（野村峰山）

記念物（史跡）

No.	名 称
1	八幡山古墳
2	特別史跡 名古屋城跡
3	大高城跡 附 丸根砦跡 鷲津砦跡
4	大曲輪貝塚
5	志段味古墳群
6	断夫山古墳

記念物（名勝）

No.	名 称
1	名古屋城二之丸庭園

記念物（天然記念物）

No.	名 称
1	名古屋城の力ヤ

重要伝統的建造物群保存地区

No.	名 称
1	名古屋市有松

8	旧藤山家住宅日本家（龍興寺客殿）
9	旧渡辺家書院及び茶室
10	伊藤家住宅
11	服部幸平家住宅 倉
12	日泰寺奉安塔

有形文化財（美術工芸品） 絵画

No.	名 称
1	茶屋新六交趾渡航図巻
2	紙本著色傳織田又六画像（天正三年仁峯賛）

3	絹本著色加藤清正画像
4	紙本著色一尊四菩薩画像
5	伝小栗宗湛筆紙本墨画豊千禅師図
6	織田信長公画像
7	旧清須城障壁画
8	伝虎関師練頂相
9	長谷川宗宅筆蘇東坡杜少陵騎馬図
10	紙本著色熱田神宮古絵図
11	増上寺本紙本著色法然上人絵伝（模本）
12	渡辺華山手録
13	紙本金箔地著色相応寺襖絵
14	紙本著色四季花鳥図屏風 山本梅逸筆
15	紙本著色築城図屏風
16	楽々園四季真景図巻
17	山水図押絵貼屏風

有形文化財（美術工芸品）彫刻

No.	名 称
1	木造聖徳太子立像
2	木造十一面観音菩薩立像
3	鑄鉄地藏菩薩立像
4	鑄鉄地藏菩薩立像
5	神事面（老爺）
6	神事面（壮年男）
7	神事面（若人）
8	神事面（若人）
9	木造阿弥陀如来坐像

有形文化財（美術工芸品）工芸品

No.	名 称
1	太刀 友重（越前国）
2	太刀 直胤（武蔵国）
3	太刀 守利（備中国）
4	太刀 行平（豊後国）
5	瑞花双鳳文八稜鏡
6	鳥獸花文鏡
7	瑞花双鸞文八稜鏡
8	瑞花唐草双鳥文五花鏡
9	双竜雲文鏡
10	尺八
11	大鈴（天文元年在銘）
12	脇差 長門守藤原氏雲
13	太刀 銘 兼武

14	春敲門額
15	古箆
16	鐙鉞（建武五年在銘）
17	短刀 銘 長谷部國信
18	短刀 銘 村正
19	太刀 銘 兼房
20	俱利迦羅剣
21	明治天皇御奉幣大判
22	鑄鉄釣燈籠
23	金銅釘隠
24	荷太鼓
25	鼉太鼓
26	青貝梨子地刳抜文鞍
27	御飯台
28	脇指 無銘（号 あざ丸）
29	脇指 銘 表 吉光 裏 亀王丸（蜘蛛切丸と伝承）
30	懸佛
31	梵鐘
32	銅造十一面観世音並びに六稜式厨子及び古甕
33	南蛮渡り金入織物紙入（伝信長公所用）
34	古喚鐘（延慶四年在銘）
35	堆烏・長方形の蓋
36	打刀拵（水野太郎左衛門拝領）
37	灰釉魚波文四耳壺
38	陶製瀬戸鉄釉狛犬
39	三尊来迎繡仏
40	黒漆厨子 千体観音図貼付
41	刺繡如意輪観音像

有形文化財（美術工芸品）書跡・典籍

No.	名 称
1	石山切
2	笠覆寺文書
3	永享四年連歌懷紙
4	尾張円福寺文書
5	景川和尚墨跡
6	熱田神宮踏歌祭頌文
7	熱田神宮修造勸進状
8	紺紙金字般若心経
9	極細字法華経

10	熱田神宮神号
11	法華經安楽行品
12	阿弥陀經
13	般若心經
14	三位法印三好吉房常閑書状
15	法樂歌仙連歌懷紙
16	寛永十三・四年熱田万句
17	熱田神宮馬場家文書
18	『因明三十三過記』紙背文書

有形文化財（美術工芸品） 考古資料

No.	名 称
1	鉄地金銅張馬具
2	弥生式壺形土器（岩倉市大地遺跡出土）
3	弥生時代壺棺（師勝町伝馬塚出土）
4	横矧板鉾留短甲

（3）市指定文化財

有形文化財（建造物）

No.	名 称
1	宗円寺宝篋印塔
2	宝生院開山塔
3	宝生院中興開山印雅上人逆修塔
4	光音寺無縫塔
5	風信亭
6	旧志水家玄関車寄せ
7	余芳亭
8	葉草倉
9	須弥壇
10	旧旅籠屋「伊勢久」
11	建中寺 総門・三門・鐘楼・御成門
12	熱田荘
13	鶴舞公園噴水塔
14	鶴舞公園普選壇
15	松重閘門
16	勝鬘寺
17	岡家住宅
18	小塚家住宅
19	竹田家住宅
20	井元家住宅
21	富部神社祭文殿及び回廊

5	三角縁神獸鏡及び六神鏡
6	西浦の条痕文土器

有形文化財（美術工芸品） 歴史資料

No.	名 称
1	水野家文書
2	尾張国絵図
3	三河国絵図
4	尾張藩領産物帳

無形民俗文化財

No.	名 称
1	桜の棒の手
2	守山の棒の手

22	日泰寺大書院鳳凰台
23	建中寺本堂・経蔵
24	建中寺開山堂及び源正公（徳川光友）廟
25	揚輝荘
26	鍋屋上野浄水場 旧第一ポンプ所
27	東山配水場 旧計量室
28	本願寺名古屋別院 鐘楼
29	笠覆寺

有形文化財（美術工芸品） 絵画

No.	名 称
1	紙本墨画徳川宗春戯画賛
2	紙本淡彩大石王像徳川義直筆
3	紙本墨画徳川義直画賛顔回像
4	絹本彩画滝川忠征像
5	絹本著色松平忠吉像
6	絹本著色地藏菩薩像
7	絹本著色尊勝種子曼荼羅図
8	絹本著色仏眼曼荼羅図
9	紙本著色渡唐天神像
10	梨木禽鳥図屏風
11	唐人物図屏風
12	伊勢参宮図屏風

有形文化財（美術工芸品） 彫刻

No.	名 称
1	木造十一面観世音菩薩立像
2	木造如来仏頭
3	木造観音菩薩立像
4	銅造大日如来坐像（総本尊）
5	銅造大日如来坐像
6	木造薬師如来坐像
7	木造馬頭観音及び熱田大明神・天照皇太神立像

有形文化財（美術工芸品） 工芸品

No.	名 称
1	和鏡
2	擬宝珠（旧裁断橋所用）
3	瀬戸 鉄釉狛犬
4	梵鐘
5	刺繍涅槃図
6	刺繍涅槃図
7	刺繍涅槃図
8	真宗大谷派名古屋別院梵鐘
9	黒漆葵紋瓜蒔絵懸盤・椀

有形文化財（美術工芸品） 考古資料

No.	名 称
1	桜田貝塚出土魚形土器
2	大須二子山古墳出土品
3	大須二子山古墳出土品

有形文化財（美術工芸品） 歴史資料

No.	名 称
1	横井也有関係資料
2	伊藤圭介関係資料
3	兼松家資料
4	近江木下家資料

無形文化財

No.	名 称
1	催馬楽桜人
2	志野流香道

有形民俗文化財

No.	名 称
1	戸部の車楽「高砂車」
2	観聴寺月待碑

3	高橋家伝来医薬器具
4	高針北島大鳥毛馬標及馬具
5	高針東古谷大鳥毛馬標及馬具
6	高針西古谷大鳥毛馬標及馬具
7	高針前山大鳥毛馬標及馬具
8	高針西山大鳥毛馬標及馬具
9	高針新屋敷大鳥毛馬標及馬具
10	一社大鳥毛馬標及馬具
11	荒子大中脇屋敷馬標及馬道具
12	荒子西の畑屋敷馬標及馬道具
13	荒子西屋敷馬標及馬道具
14	十王像
15	六地藏石仏
16	長久寺 庚申塔
17	双体地藏石碑
18	十七夜待供養碑

無形民俗文化財

No.	名 称
1	名古屋港筏師一本乗り
2	七所社「きねこさ祭」
3	中根町「見当流棒の手」
4	鍋屋上野町「源氏天流棒の手」
5	善進町「真影流棒の手」
6	猪高町「鷹羽検藤流棒の手」
7	平針「木遣り音頭」
8	出来町天王祭の山車行事
9	高針棒の手
10	筒井町天王祭の山車行事と神皇車
11	花車神明社祭の山車行事と唐子車
12	筒井町天王祭の山車行事と湯取車
13	花車神明社祭の山車行事と二福神車
14	花車神明社祭の山車行事と紅葉狩車
15	出来町天王祭の山車行事と鹿子神車
16	出来町天王祭の山車行事と河水車
17	若宮祭りの山車行事と福祿寿車
18	牛立天王祭の山車行事と牛頭天王車
19	有松祭りの山車行事と布袋車
20	有松祭りの山車行事と唐子車
21	有松祭りの山車行事と神功皇后車
22	比良祭りの山車行事と二福神車
23	比良祭りの山車行事と湯取神子車

24	戸田祭りの山車行事と白山社山車
25	戸田祭りの山車行事と神明社山車
26	戸田祭りの山車行事と鈴宮社山車
27	戸田祭りの山車行事と天神社山車
28	戸田祭りの山車行事と八幡社山車
29	鳴海表方祭の山車行事と唐子車
30	大森天王祭の山車行事
31	鳴海祭（裏方）の山車行事と丹下・北浦・花井・城之下の山車
32	鳴海祭（表方）の山車行事と作町・根古屋・本街・中嶋の山車
33	大森郷祭のオマント行事

記念物（史跡）

No.	名 称
1	千鳥塚
2	刈跡塚（翁塚）

（4）国登録文化財

有形文化財（建造物）

No.	名 称
1	徳川美術館本館
2	徳川美術館南収蔵庫
3	乃木倉庫
4	愛知学院大学楠元学舎第1号館
5	東海学園大講堂
6	南山学園ライネルス館
7	金城学院高等学校栄光館
8	名古屋港跳上橋(旧1・2号地間運河可動橋)
9	長母寺本堂
10	長母寺庫裡
11	長母寺山門
12	建中寺徳興殿(旧名古屋商業会議所本館)
13	旧加藤商会ビル
14	又兵衛(旧坂上家住宅)
15	龍影閣(旧名古屋博物館品評所)
16	料亭河文主屋
17	料亭河文表門、塀及び脇門
18	料亭河文新用亭及び渡廊下
19	料亭河文用々亭
20	料亭河文厨房
21	旧川上貞奴邸主屋

3	芭蕉最古の供養塔
4	守山瓢箪山古墳
5	深沢第3号墳
6	桜神明社古墳

記念物（名勝）

No.	名 称
1	旧「年魚市湯」展望地

記念物（天然記念物）

No.	名 称
1	宝珠院のイヌナシ
2	大乃伎神社のボダイジュ
3	村上社のクスノキ

22	旧川上貞奴邸蔵
23	春江院本堂
24	春江院本玄関及び書院
25	春江院不老閣
26	春江院茶室
27	春江院庫裏
28	春江院山門
29	春江院鐘楼
30	オリエンタルビル屋上観覧車
31	萬乗醸造主屋
32	萬乗醸造旧精米作業場
33	萬乗醸造瓶詰作業場
34	萬乗醸造元蔵
35	萬乗醸造中蔵
36	萬乗醸造新蔵
37	萬乗醸造白米倉庫
38	萬乗醸造離れ
39	萬乗醸造土蔵
40	萬乗醸造内井戸
41	萬乗醸造旧仕込蔵及び樽修理場
42	萬乗醸造外井戸
43	名古屋大学医学部附属病院門及び外塀(旧愛知県立医学専門学校正門及び外塀)

44	名古屋大学医学部附属病院門及び外塀（旧愛知県立愛知病院正門及び外塀）
45	名古屋大学医学部附属病院門及び外塀（旧愛知県立愛知病院通用門及び外塀）
46	中濱家住宅主屋
47	中濱家住宅土蔵
48	中濱家住宅物置
49	中濱家住宅門
50	中濱家住宅石垣及び塀
51	名古屋陶磁器会館
52	棚橋家住宅主屋
53	名古屋大学豊田講堂
54	カトリック主税町教会信者会館
55	カトリック主税町教会司祭館
56	カトリック主税町教会煉瓦塀
57	石原家住宅主屋
58	神谷家住宅柏露軒
59	神谷家住宅孤蓐
60	神谷家住宅腰掛待合
61	神谷家住宅中潜門
62	日本福音ルーテル復活教会
63	名古屋市東山荘主屋
64	名古屋市東山荘正門及び塀
65	名古屋市東山荘庭門及び塀
66	寛家住宅主屋
67	徳川園黒門
68	徳川園脇長屋
69	徳川園塀
70	徳川園釣瓶井戸
71	蓬左文庫旧書庫
72	蘇山荘
73	徳川美術館山の茶屋
74	徳川美術館心空庵及び餘芳軒
75	徳川美術館餘芳軒東屋
76	日本陶磁器センター旧館
77	日本陶磁器センター新館
78	名古屋カテドラル聖ペトロ聖パウロ大聖堂
79	崇覚寺本堂
80	鈴木家住宅主屋
81	蓮教寺本堂
82	蓮教寺書院

83	蓮教寺庫裏
84	蓮教寺鐘楼
85	蓮教寺山門及び脇塀
86	梵音寺本堂
87	愛知県立旭丘高等学校正門門柱（旧愛知県立第一中学校正門）
88	中村公園記念館
89	中村公園豊頌軒
90	愛知県立瑞陵高等学校旧正門門柱（旧愛知県商業学校正門）
91	愛知県立惟信高等学校正門門柱（旧愛知県惟信中学校正門）
92	善行寺本堂
93	善行寺玄関座敷
94	善行寺鐘楼
95	善行寺太鼓楼
96	善行寺手水舎
97	善行寺山門
98	爲三郎記念館爲春亭
99	爲三郎記念館知足庵
100	爲三郎記念館待合
101	爲三郎記念館雪隠
102	爲三郎記念館正門
103	爲三郎記念館東門
104	真宗大谷派名古屋別院東門及び土塀
105	七所神社本殿
106	川原田家住宅主屋
107	川原田家住宅表門及び塀
108	川原田家住宅裏門及び塀
109	川原田家住宅石垣
110	名古屋市公会堂
111	道徳公園クジラ池噴水
112	朝日神社透塀（蕃塀）
113	愛知県立瑞陵高等学校感喜堂（旧講堂）

記念物（名勝）

No.	名 称
1	鶴舞公園

（5）国選定保存技術

No.	名 称
1	能楽小鼓（胴・革）製作修理 保持者：鈴木理之